

普代村
まちづくりアンケート
集計結果報告書

平成 27 年 9 月

目次 Contents

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象、調査方法及び調査期間	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の留意点	1
II 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 居留意識について	7
3. 各分野別の満足度について	12
4. 将来展望について	26
5. 人口減少に対する意識について	30
6. 人口減少対策の具体的な取り組みについて	34
III 自由意見	47
アンケート調査票	59

I 調査の概要

1. 調査の目的

本アンケート調査は、普代村総合発展計画の後期基本計画と普代村人口ビジョン及び総合戦略を策定するに当たり基礎資料を得ることも目的に実施しました。

2. 調査対象、調査方法及び調査期間

- 調査対象：村内に居住する 18 歳以上の 1,144 人
- 抽出方法：無作為抽出法
- 調査方法：留置後に行政連絡員及び郵送による配布・回収
- 調査期間：2015 年（平成 27 年）7 月～2015 年（平成 27 年）8 月

3. 回収結果

- 配布数：1,144 件
- 回収数：521 件（回収率：45.5%）
- 有効回答数：519 件（有効回答率：45.4%）

4. 報告書の留意点

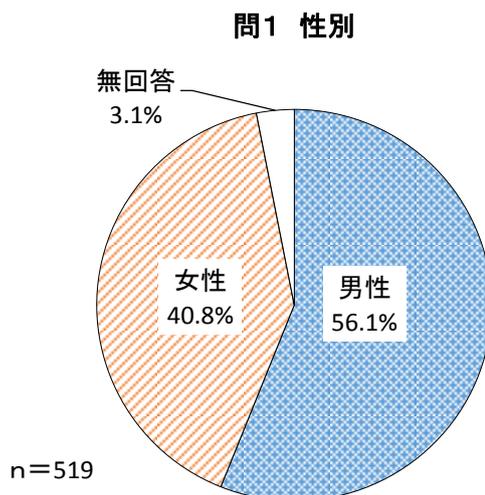
- 図表中の n（number of cases ; n）は、回答者数のことです。
- 回答割合はすべて n を基数とした百分率（%）で表わし、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- 設問には、1 つに○をする「単一回答」（SA）と、複数以上に○をする「複数回答」（MA）の場合があります、複数回答の場合は、回答比率の合計が 100.0%を超えます。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、図表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 問の回答を男女や年代別でみた場合に、性別や年齢の無回答者の影響で、回答者数が問の回答者総数より少なくなる場合があります。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

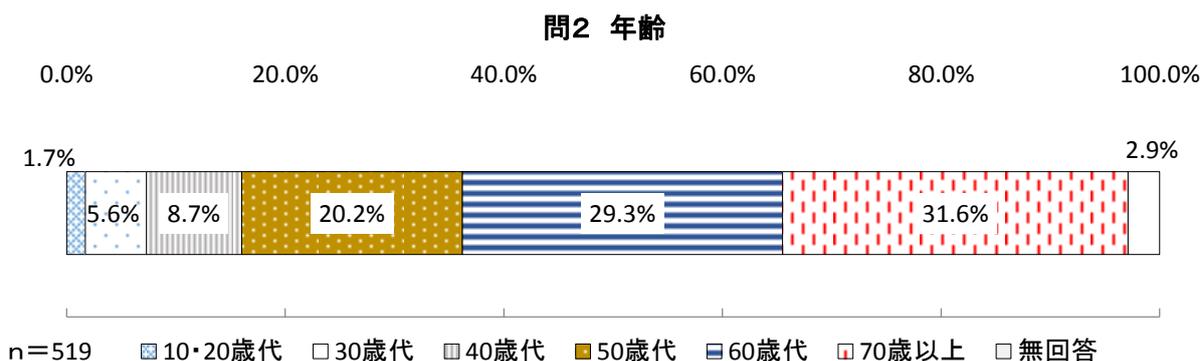
問1 あなたの性別は

回答者 519 人の性別による割合は、男性 56.1%、女性 40.8%、無回答 3.1%となっています。



問2 あなたの年齢は

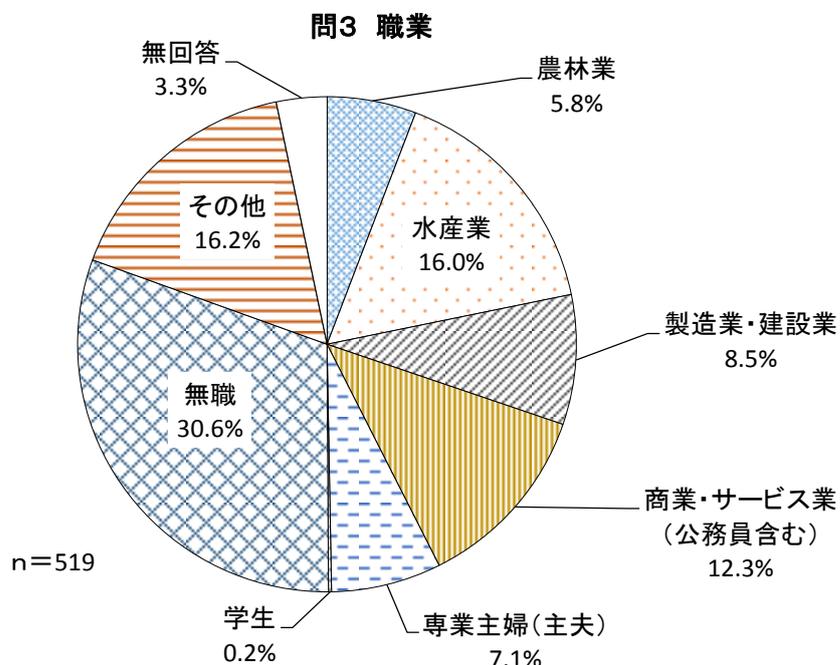
回答者の年齢層を年代別で見ると、10・20歳代が 1.7%、30歳代が 5.6%、40歳代が 8.7%、50歳代が 20.2%、60歳代が 29.3%、70歳以上が 31.6%となっています。



	■性別						合計	
	男性		女性		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	3	1.0%	6	2.8%	0	0.0%	9	1.7%
30歳代	13	4.5%	16	7.5%	0	0.0%	29	5.6%
40歳代	18	6.2%	27	12.7%	0	0.0%	45	8.7%
50歳代	66	22.7%	39	18.4%	0	0.0%	105	20.2%
60歳代	89	30.6%	62	29.2%	1	6.3%	152	29.3%
70歳以上	99	34.0%	61	28.8%	4	25.0%	164	31.6%
無回答	3	1.0%	1	0.5%	11	68.8%	15	2.9%
合計	291	100.0%	212	100.0%	16	100.0%	519	100.0%

問3 あなたの職業は

回答者の職業は「無職」が30.6%で最も高く、次いで「その他」が16.2%、「水産業」が16.0%、「商業・サービス業（公務員含む）」が12.3%となっています。

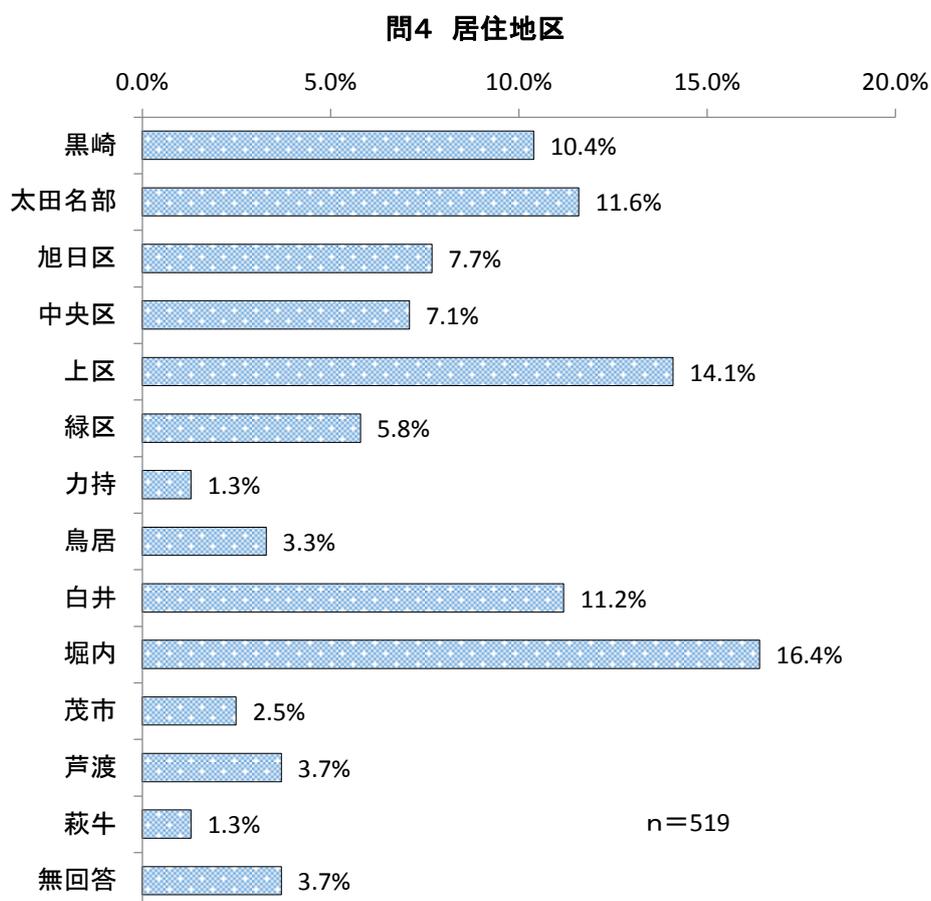


- 回答者の職業を年代別で見ると、30歳代以下では「商業・サービス業（公務員含む）」が高く、40～50歳代では「その他」が高く、60歳代以上では「無職」が高くなっています。

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	0	0.0%	6	4.0%	24	7.6%	0	0.0%	30	5.8%
水産業	3	7.9%	33	22.0%	46	14.6%	1	6.7%	83	16.0%
製造業・建設業	3	7.9%	19	12.7%	22	7.0%	0	0.0%	44	8.5%
商業・サービス業(公務員含む)	16	42.1%	29	19.3%	19	6.0%	0	0.0%	64	12.3%
専業主婦(主夫)	5	13.2%	13	8.7%	19	6.0%	0	0.0%	37	7.1%
学生	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
無職	1	2.6%	9	6.0%	147	46.5%	2	13.3%	159	30.6%
その他	9	23.7%	37	24.7%	37	11.7%	1	6.7%	84	16.2%
無回答	0	0.0%	4	2.7%	2	0.6%	11	73.3%	17	3.3%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問4 あなたのお住まいの地区は

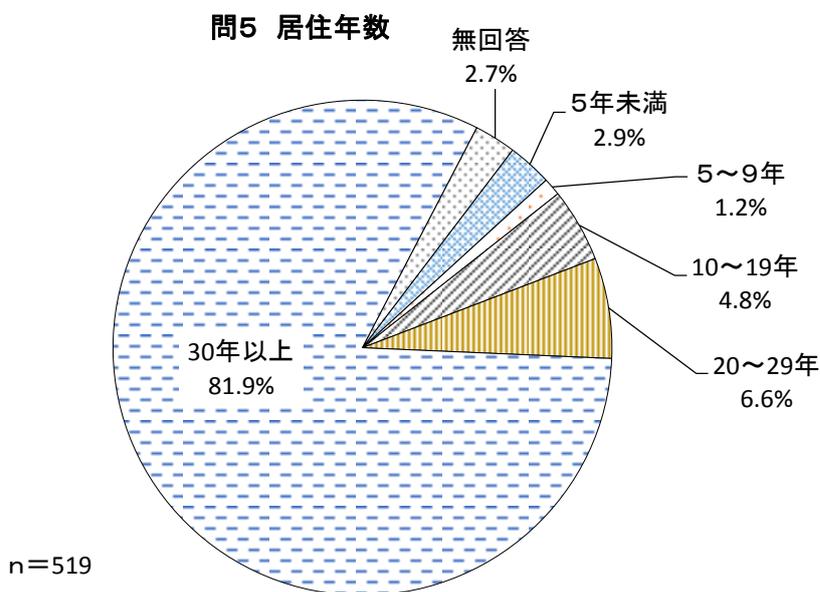
回答者の居住地区は、次のとおりです。



	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	6	15.8%	16	10.7%	32	10.1%	0	0.0%	54	10.4%
太田名部	5	13.2%	20	13.3%	35	11.1%	0	0.0%	60	11.6%
旭日区	3	7.9%	10	6.7%	27	8.5%	0	0.0%	40	7.7%
中央区	2	5.3%	12	8.0%	23	7.3%	0	0.0%	37	7.1%
上区	8	21.1%	15	10.0%	49	15.5%	1	6.7%	73	14.1%
緑区	1	2.6%	12	8.0%	17	5.4%	0	0.0%	30	5.8%
力持	0	0.0%	4	2.7%	3	0.9%	0	0.0%	7	1.3%
鳥居	0	0.0%	5	3.3%	11	3.5%	1	6.7%	17	3.3%
白井	7	18.4%	15	10.0%	36	11.4%	0	0.0%	58	11.2%
堀内	3	7.9%	28	18.7%	54	17.1%	0	0.0%	85	16.4%
茂市	0	0.0%	5	3.3%	8	2.5%	0	0.0%	13	2.5%
芦渡	2	5.3%	3	2.0%	14	4.4%	0	0.0%	19	3.7%
萩牛	0	0.0%	2	1.3%	5	1.6%	0	0.0%	7	1.3%
無回答	1	2.6%	3	2.0%	2	0.6%	13	86.7%	19	3.7%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問5 あなたは普代村にお住まいになってから何年になりますか

回答者の普代村における居住年数は、「30年以上」が81.9%を占めています。

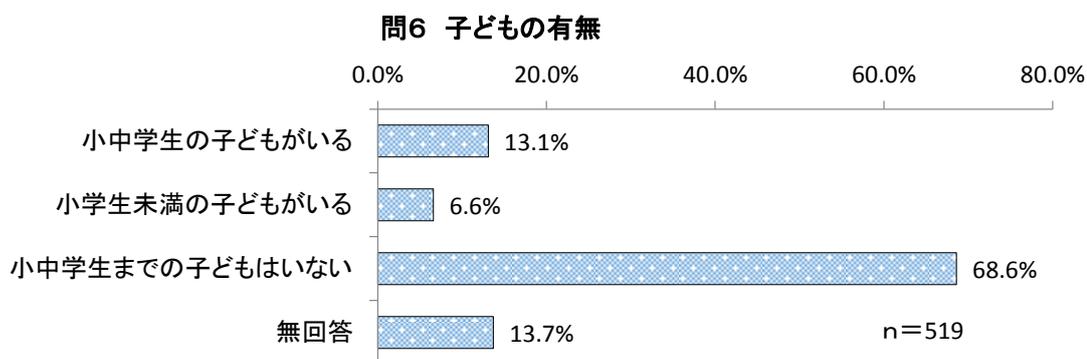


	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40~50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
5年未満	9	23.7%	4	2.7%	2	0.6%	0	0.0%	15	2.9%
5~9年	3	7.9%	1	0.7%	2	0.6%	0	0.0%	6	1.2%
10~19年	6	15.8%	13	8.7%	6	1.9%	0	0.0%	25	4.8%
20~29年	7	18.4%	19	12.7%	8	2.5%	0	0.0%	34	6.6%
30年以上	13	34.2%	112	74.7%	297	94.0%	3	20.0%	425	81.9%
無回答	0	0.0%	1	0.7%	1	0.3%	12	80.0%	14	2.7%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問6 あなたの世帯には中学生以下の子どもがいますか（2つまでに○）

中学生以下の子どもの有無については、「小中学生までの子どもはいない」が68.6%を占めています。

中学生以下の子どもがいる世帯では、「小中学生の子どもがいる」が13.1%、「小学生未満の子どもがいる」が6.6%となっています。



- 30歳代以下では、中学生以下の子どもがいる割合が他の世代より高くなっています。

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小中学生の子どもがいる	11	28.9%	24	16.0%	32	10.1%	1	6.7%	68	13.1%
小学生未満の子どもがいる	11	28.9%	9	6.0%	14	4.4%	0	0.0%	34	6.6%
小中学生までの子どもはいない	17	44.7%	109	72.7%	227	71.8%	3	20.0%	356	68.6%
無回答	2	5.3%	9	6.0%	49	15.5%	11	73.3%	71	13.7%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

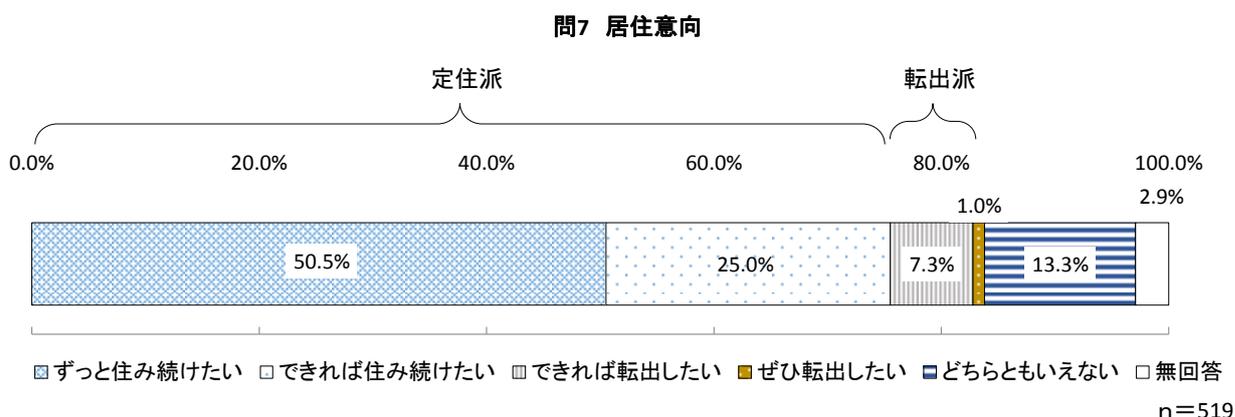
2. 居留意識について

問7 あなたは、今後も普代村に住み続けたいですか（1つに○）

＜定住意向を示す人が75.5%を占める＞

今後も普代村に住み続けたいかをたずねたところ、「ずっと住み続けたい」が50.5%、「できれば住み続けたい」が25.0%となり、両回答を合わせた定住の意向を示す人は75.5%となっています。

一方、「できれば転出したい」は7.3%、「ぜひ転出したい」が1.0%となり、合わせると8.3%が転出の意向を示しています。



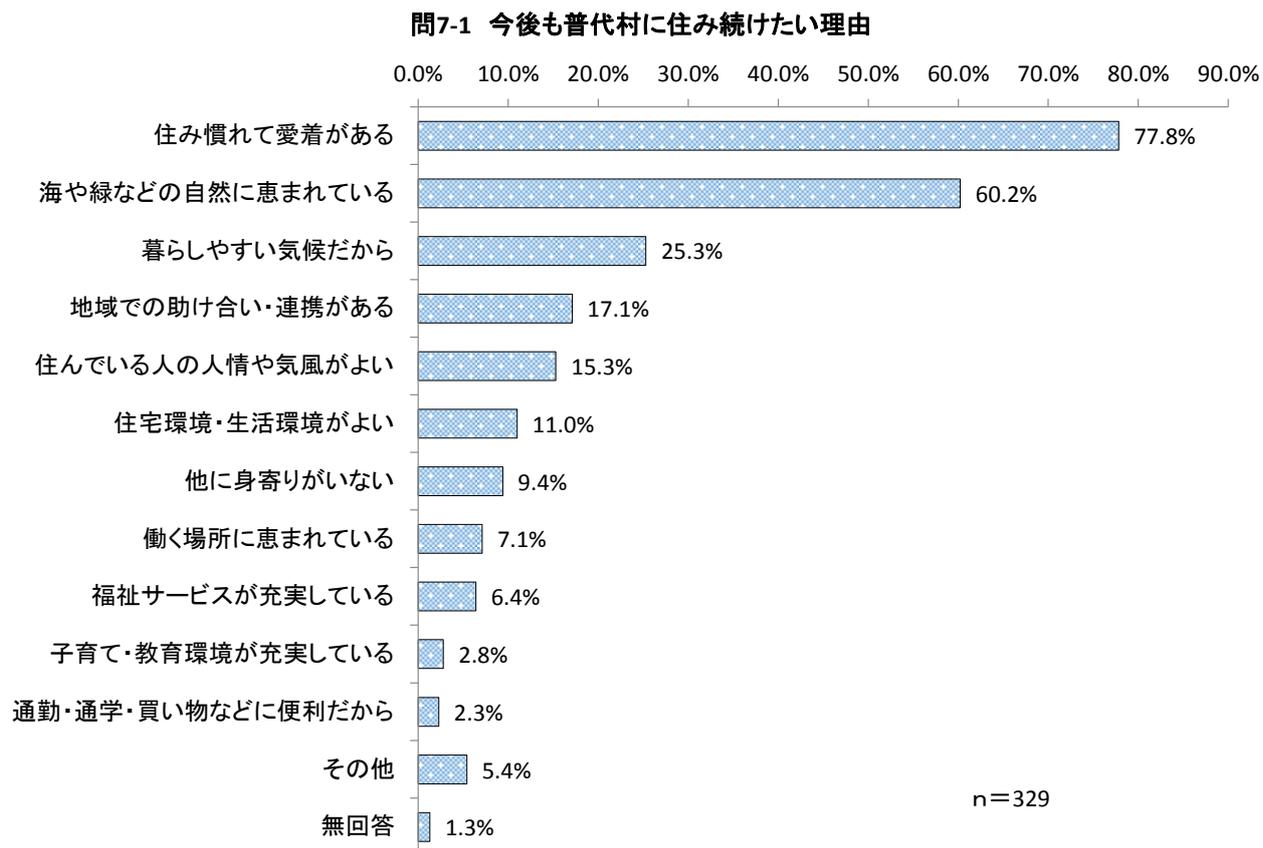
- 定住意向について年代別にみると、40歳以上では、「ずっと住み続けたい」との回答割合が最も高くなっていますが、30歳代以下では、「できれば住み続けたい」の回答割合が最も高くなっています。

	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ずっと住み続けたい	6	15.8%	59	39.3%	191	60.4%	6	40.0%	262	50.5%
できれば住み続けたい	14	36.8%	40	26.7%	74	23.4%	2	13.3%	130	25.0%
できれば転出したい	7	18.4%	15	10.0%	12	3.8%	4	26.7%	38	7.3%
ぜひ転出したい	0	0.0%	3	2.0%	1	0.3%	1	6.7%	5	1.0%
どちらともいえない	11	28.9%	29	19.3%	27	8.5%	2	13.3%	69	13.3%
無回答	0	0.0%	4	2.7%	11	3.5%	0	0.0%	15	2.9%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問7-1 問7で「ずっと住みたい」または「できれば住みたい」とお答えになった方におたずねします。あなたが住みたいという理由は何ですか。
(3つまでに○)

<住みたい理由は「住み慣れて愛着がある」が高い>

定住意向を示す人にその理由をたずねたところ、「住み慣れて愛着がある」が77.8%で最も高くなっています。次いで、「海や緑などの自然に恵まれている」が60.2%となっています。



- 年代別にみても、それぞれ「住み慣れて愛着がある」と「海や緑などの自然に恵まれている」の割合が高くなっています。

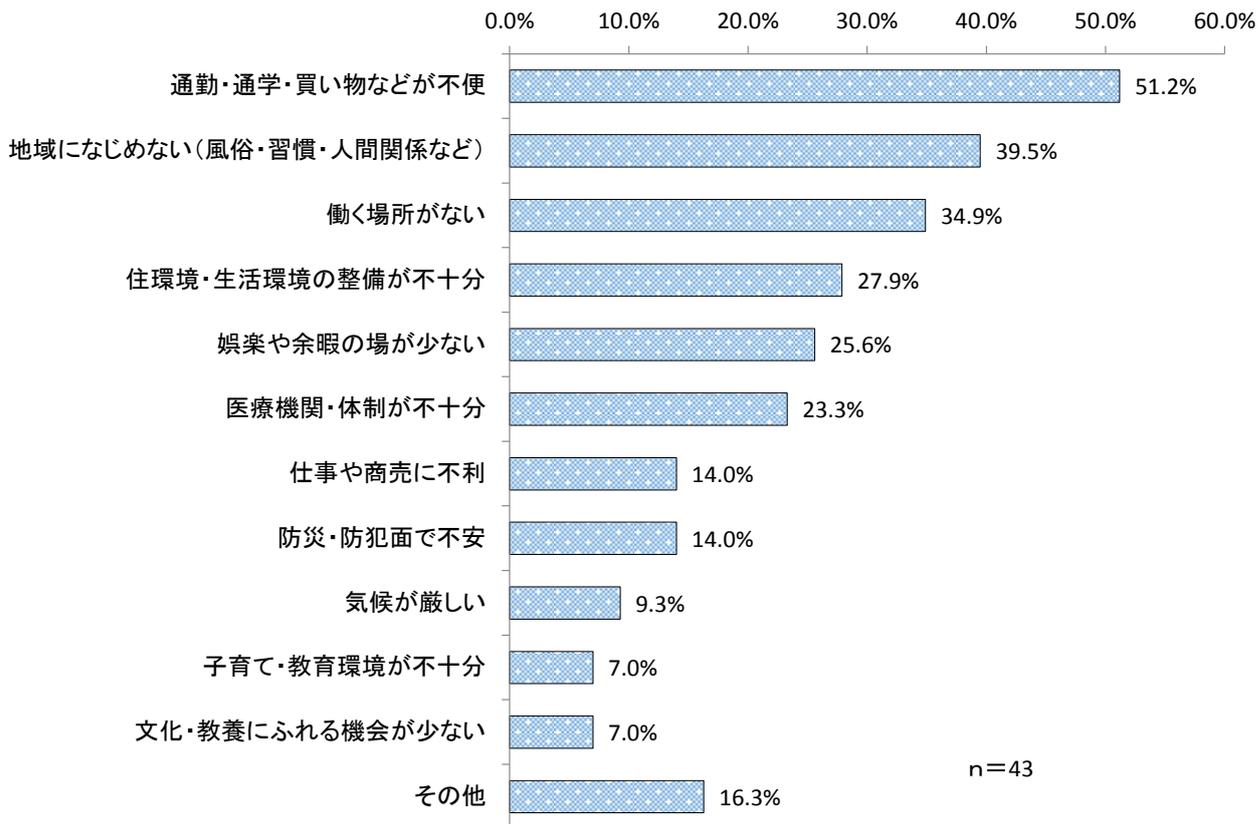
	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
海や緑などの自然に恵まれている	13	65.0%	56	56.6%	163	61.5%	4	50.0%	236	60.2%
暮らしやすい気候だから	2	10.0%	18	18.2%	75	28.3%	4	50.0%	99	25.3%
住宅環境・生活環境がよい	3	15.0%	10	10.1%	28	10.6%	2	25.0%	43	11.0%
住み慣れて愛着がある	16	80.0%	77	77.8%	206	77.7%	6	75.0%	305	77.8%
住んでいる人の人情や気風がよい	3	15.0%	19	19.2%	37	14.0%	1	12.5%	60	15.3%
地域での助け合い・連携がある	4	20.0%	11	11.1%	51	19.2%	1	12.5%	67	17.1%
通勤・通学・買い物などに便利だから	1	5.0%	2	2.0%	5	1.9%	1	12.5%	9	2.3%
子育て・教育環境が充実している	4	20.0%	5	5.1%	2	0.8%	0	0.0%	11	2.8%
福祉サービスが充実している	0	0.0%	4	4.0%	20	7.5%	1	12.5%	25	6.4%
働く場所に恵まれている	1	5.0%	5	5.1%	22	8.3%	0	0.0%	28	7.1%
他に身寄りがない	2	10.0%	10	10.1%	25	9.4%	0	0.0%	37	9.4%
その他	2	10.0%	10	10.1%	9	3.4%	0	0.0%	21	5.4%
無回答	0	0.0%	1	1.0%	3	1.1%	1	12.5%	5	1.3%
合 計	20	100.0%	99	100.0%	265	100.0%	8	100.0%	392	100.0%

問7-2 問7で「できれば転出したい」または「ぜひ転出したい」とお答えになった方におたずねします。あなたが転出したいと思う理由は何ですか。（3つまでに○）

＜転出したい理由は「通勤・通学・買い物などが不便」が高い＞

転出の意向を示す人にその理由をたずねたところ、「通勤・通学・買い物などが不便」が51.2%で最も高くなり、次いで、「地域になじめない（風俗・習慣・人間関係など）」が39.5%、「働く場所がない」が34.9%となっています。

問7-2 普代村から転出したいと思う理由



- 年代別にみると、30歳代以下では、「通勤・通学・買い物が不便」と「働く場所がない」が同率で高く、40～50歳代では、「通勤・通学・買い物が不便」に次いで、「地域になじめない(風俗・習慣・人間関係など)」が高く、60歳代以上では、「住環境・生活環境の整備が不十分」が最も高く、次いで、「防災・防犯面での不安」が高くなっています。

	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
気候が厳しい	0	0.0%	2	11.1%	2	15.4%	0	0.0%	4	9.3%
住環境・生活環境の整備が不十分	1	14.3%	4	22.2%	6	46.2%	1	20.0%	12	27.9%
地域になじめない(風俗・習慣・人間関係など)	3	42.9%	7	38.9%	4	30.8%	3	60.0%	17	39.5%
通勤・通学・買い物などが不便	4	57.1%	12	66.7%	4	30.8%	2	40.0%	22	51.2%
医療機関・体制が不十分	1	14.3%	5	27.8%	3	23.1%	1	20.0%	10	23.3%
子育て・教育環境が不十分	1	14.3%	1	5.6%	0	0.0%	1	20.0%	3	7.0%
文化・教養にふれる機会が少ない	0	0.0%	1	5.6%	1	7.7%	1	20.0%	3	7.0%
働く場所がない	4	57.1%	6	33.3%	2	15.4%	3	60.0%	15	34.9%
仕事や商売に不利	2	28.6%	1	5.6%	2	15.4%	1	20.0%	6	14.0%
防災・防犯面で不安	0	0.0%	1	5.6%	5	38.5%	0	0.0%	6	14.0%
娯楽や余暇の場が少ない	3	42.9%	4	22.2%	4	30.8%	0	0.0%	11	25.6%
その他	0	0.0%	4	22.2%	1	7.7%	2	40.0%	7	16.3%
合 計	7	100.0%	18	100.0%	13	100.0%	5	100.0%	43	100.0%

3. 各分野別の満足度について

問8 まちづくりの現状についてどのように感じていますか。項目ごとに1～4の番号をそれぞれ選び○をつけてください。（○は1つずつ）

<生活環境に関する施策の満足度が高い>

各施策分野の満足度については、以下のとおりです。「消防・防災」と「ごみ収集・処理」などの生活環境に関する施策や、「医療対策」と「保健対策（健診・健康講座など）」の保健・医療の施策に対する満足度が高く、主に産業振興に関する施策の満足度が低くなっています。

■各分野の評価一覧（「満足」と「やや満足」の合計が高い順）

施策	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
消防・防災	16.6%	52.4%	10.8%	2.7%	17.5%
ごみ収集・処理	18.5%	49.3%	11.8%	5.2%	15.2%
医療対策	17.7%	49.3%	12.3%	4.2%	16.4%
保健対策（健診・健康講座など）	17.0%	49.3%	11.4%	3.3%	19.1%
治安・防犯	16.2%	49.3%	11.2%	2.1%	21.2%
交通安全	14.1%	50.9%	11.2%	3.3%	20.6%
① 小・中学校の教育	10.4%	48.4%	12.7%	3.9%	24.7%
幼児教育	10.8%	47.6%	11.0%	4.0%	26.6%
保育・子育て支援	13.9%	43.9%	13.1%	4.0%	25.0%
公共交通（バス・鉄道）	9.2%	43.5%	22.4%	6.7%	18.1%
生涯学習	7.7%	44.5%	18.1%	4.4%	25.2%
高齢化対策	7.9%	43.7%	21.4%	9.6%	17.3%
道路整備	10.0%	41.2%	20.4%	10.2%	18.1%
スポーツ振興	8.3%	41.8%	19.1%	5.8%	25.0%
水産業振興	7.7%	42.2%	22.2%	6.9%	21.0%
障がい者支援	9.1%	40.3%	20.6%	6.2%	23.9%
地域の情報化	5.2%	39.1%	24.5%	7.5%	23.7%
歴史・文化財の保全・活用	6.6%	37.4%	24.5%	6.6%	25.0%
② 除雪・排雪	8.1%	32.4%	28.7%	17.0%	13.9%
下水処理	8.9%	31.0%	25.6%	13.5%	21.0%
男女共同参画	4.8%	35.1%	27.4%	6.6%	26.2%
地域振興（コミュニティづくり）	4.4%	34.9%	29.7%	6.7%	24.3%
行財政運営	4.6%	34.3%	27.7%	9.6%	23.7%
② 公園・緑地整備	6.2%	32.2%	29.9%	11.4%	20.4%
農林業振興	3.1%	34.9%	26.8%	9.8%	25.4%
省エネ・新エネ対策	2.1%	32.2%	30.4%	9.1%	26.2%
② 近隣市町村との交流・連携	3.3%	30.6%	32.9%	10.2%	22.9%
工業振興（建設業を含む）	2.1%	28.3%	31.4%	10.4%	27.7%
商業振興	2.5%	25.8%	30.1%	15.2%	26.4%
観光振興	3.3%	22.7%	30.6%	16.4%	27.0%

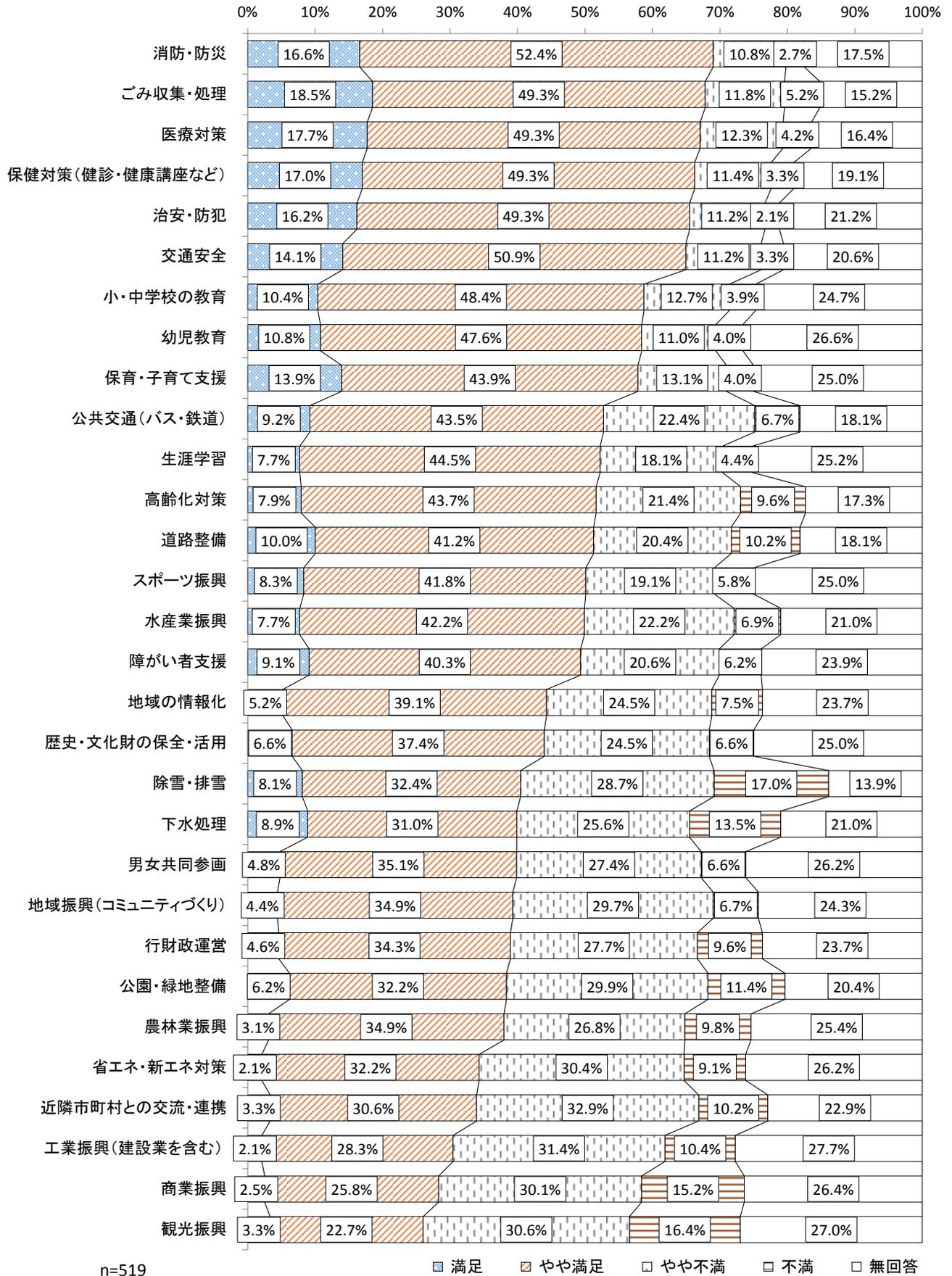
①「満足」、「やや満足」の合計が 50.0%を上回った施策（30 施策中 14 施策）

「消防・防災」「ごみ収集・処理」「医療対策」「保健対策（健診・健康講座など）」「治安・防犯」「交通安全」「小・中学校の教育」「幼児教育」「保育・子育て支援」「公共交通（バス・鉄道）」「生涯学習」「高齢化対策」「道路整備」「スポーツ振興」の順に高い満足度になっており、生活環境、保健・医療などに関する施策に対して満足度が高くなっています。

②「やや不満」、「不満」の合計が 40.0%を上回った施策（30 施策中 6 施策）

「観光振興」「除雪・排雪」「商業振興」「近隣市町村との交流・連携」「工業振興（建設業を含む）」「公園・緑地整備」の順に満足度が低く、主に産業振興に関する施策に対して満足度が低くなっています。

全施策への評価グラフ(高評価順)



n=519

■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

➤ 各分野の満足度のうち、産業の振興について、職業別にみると次のとおりです。

■職業別にみた産業振興施策の満足度【農林業振興】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	1	3.3%	10	33.3%	10	33.3%	4	13.3%	5	16.7%	30	100.0%
水産業	2	2.4%	31	37.3%	30	36.1%	5	6.0%	15	18.1%	83	100.0%
製造業・建設業	1	2.3%	16	36.4%	11	25.0%	8	18.2%	8	18.2%	44	100.0%
商業・サービス業(公務員含む)	1	1.6%	25	39.1%	21	32.8%	8	12.5%	9	14.1%	64	100.0%
専業主婦(主夫)	2	5.4%	13	35.1%	7	18.9%	0	0.0%	15	40.5%	37	100.0%
学生	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
無職	6	3.8%	43	27.0%	38	23.9%	14	8.8%	58	36.5%	159	100.0%
その他	3	3.6%	39	46.4%	17	20.2%	8	9.5%	17	20.2%	84	100.0%
無回答	0	0.0%	3	17.6%	5	29.4%	4	23.5%	5	29.4%	17	100.0%
合計	16	3.1%	181	34.9%	139	26.8%	51	9.8%	132	25.4%	519	100.0%

■職業別にみた産業振興施策の満足度【水産業振興】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	3	10.0%	13	43.3%	8	26.7%	1	3.3%	5	16.7%	30	100.0%
水産業	3	3.6%	32	38.6%	29	34.9%	13	15.7%	6	7.2%	83	100.0%
製造業・建設業	3	6.8%	24	54.5%	6	13.6%	4	9.1%	7	15.9%	44	100.0%
商業・サービス業(公務員含む)	7	10.9%	30	46.9%	16	25.0%	3	4.7%	8	12.5%	64	100.0%
専業主婦(主夫)	2	5.4%	15	40.5%	9	24.3%	1	2.7%	10	27.0%	37	100.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
無職	11	6.9%	62	39.0%	28	17.6%	5	3.1%	53	33.3%	159	100.0%
その他	9	10.7%	40	47.6%	17	20.2%	6	7.1%	12	14.3%	84	100.0%
無回答	2	11.8%	3	17.6%	2	11.8%	2	11.8%	8	47.1%	17	100.0%
合計	40	7.7%	219	42.2%	115	22.2%	36	6.9%	109	21.0%	519	100.0%

■職業別にみた産業振興施策の満足度【工業振興(建設業を含む)】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	0	0.0%	9	30.0%	9	30.0%	3	10.0%	9	30.0%	30	100.0%
水産業	1	1.2%	18	21.7%	31	37.3%	12	14.5%	21	25.3%	83	100.0%
製造業・建設業	1	2.3%	14	31.8%	17	38.6%	7	15.9%	5	11.4%	44	100.0%
商業・サービス業(公務員含む)	1	1.6%	17	26.6%	30	46.9%	7	10.9%	9	14.1%	64	100.0%
専業主婦(主夫)	1	2.7%	8	21.6%	12	32.4%	1	2.7%	15	40.5%	37	100.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
無職	4	2.5%	42	26.4%	39	24.5%	13	8.2%	61	38.4%	159	100.0%
その他	3	3.6%	37	44.0%	19	22.6%	9	10.7%	16	19.0%	84	100.0%
無回答	0	0.0%	2	11.8%	5	29.4%	2	11.8%	8	47.1%	17	100.0%
合計	11	2.1%	147	28.3%	163	31.4%	54	10.4%	144	27.7%	519	100.0%

■職業別にみた産業振興施策の満足度【商業振興】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	0	0.0%	8	26.7%	8	26.7%	4	13.3%	10	33.3%	30	100.0%
水産業	0	0.0%	21	25.3%	24	28.9%	19	22.9%	19	22.9%	83	100.0%
製造業・建設業	1	2.3%	11	25.0%	17	38.6%	7	15.9%	8	18.2%	44	100.0%
商業・サービス業(公務員含む)	2	3.1%	13	20.3%	23	35.9%	19	29.7%	7	10.9%	64	100.0%
専業主婦(主夫)	1	2.7%	7	18.9%	14	37.8%	4	10.8%	11	29.7%	37	100.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
無職	7	4.4%	37	23.3%	39	24.5%	15	9.4%	61	38.4%	159	100.0%
その他	2	2.4%	35	41.7%	26	31.0%	8	9.5%	13	15.5%	84	100.0%
無回答	0	0.0%	2	11.8%	4	23.5%	3	17.6%	8	47.1%	17	100.0%
合計	13	2.5%	134	25.8%	156	30.1%	79	15.2%	137	26.4%	519	100.0%

■職業別にみた産業振興施策の満足度【観光振興】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	0	0.0%	6	20.0%	9	30.0%	3	10.0%	12	40.0%	30	100.0%
水産業	1	1.2%	15	18.1%	27	32.5%	18	21.7%	22	26.5%	83	100.0%
製造業・建設業	4	9.1%	10	22.7%	14	31.8%	11	25.0%	5	11.4%	44	100.0%
商業・サービス業(公務員含む)	0	0.0%	12	18.8%	33	51.6%	12	18.8%	7	10.9%	64	100.0%
専業主婦(主夫)	1	2.7%	7	18.9%	9	24.3%	9	24.3%	11	29.7%	37	100.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
無職	8	5.0%	36	22.6%	39	24.5%	19	11.9%	57	35.8%	159	100.0%
その他	3	3.6%	29	34.5%	24	28.6%	10	11.9%	18	21.4%	84	100.0%
無回答	0	0.0%	3	17.6%	3	17.6%	3	17.6%	8	47.1%	17	100.0%
合計	17	3.3%	118	22.7%	159	30.6%	85	16.4%	140	27.0%	519	100.0%

- 各分野の満足度のうち、保健・医療・福祉分野について、年代別にみると次のとおりです。

■年代別にみた保健・医療・福祉分野の満足度【保健対策（健診・健康講座など）】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	2	22.2%	5	55.6%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	4	13.8%	16	55.2%	5	17.2%	1	3.4%	3	10.3%	29	100.0%
40歳代	7	15.6%	24	53.3%	5	11.1%	2	4.4%	7	15.6%	45	100.0%
50歳代	17	16.2%	49	46.7%	22	21.0%	7	6.7%	10	9.5%	105	100.0%
60歳代	25	16.4%	82	53.9%	14	9.2%	5	3.3%	26	17.1%	152	100.0%
70歳以上	32	19.5%	75	45.7%	10	6.1%	1	0.6%	46	28.0%	164	100.0%
無回答	1	6.7%	5	33.3%	1	6.7%	1	6.7%	7	46.7%	15	100.0%
合計	88	17.0%	256	49.3%	59	11.4%	17	3.3%	99	19.1%	519	100.0%

■年代別にみた保健・医療・福祉分野の満足度【医療対策】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	2	22.2%	3	33.3%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	6	20.7%	11	37.9%	6	20.7%	2	6.9%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	7	15.6%	28	62.2%	4	8.9%	2	4.4%	4	8.9%	45	100.0%
50歳代	17	16.2%	53	50.5%	17	16.2%	9	8.6%	9	8.6%	105	100.0%
60歳代	27	17.8%	81	53.3%	23	15.1%	2	1.3%	19	12.5%	152	100.0%
70歳以上	33	20.1%	73	44.5%	9	5.5%	6	3.7%	43	26.2%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	7	46.7%	1	6.7%	1	6.7%	6	40.0%	15	100.0%
合計	92	17.7%	256	49.3%	64	12.3%	22	4.2%	85	16.4%	519	100.0%

■年代別にみた保健・医療・福祉分野の満足度【高齢化対策】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	7	77.8%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	2	6.9%	11	37.9%	5	17.2%	7	24.1%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	4	8.9%	23	51.1%	9	20.0%	4	8.9%	5	11.1%	45	100.0%
50歳代	8	7.6%	46	43.8%	27	25.7%	17	16.2%	7	6.7%	105	100.0%
60歳代	11	7.2%	62	40.8%	39	25.7%	12	7.9%	28	18.4%	152	100.0%
70歳以上	16	9.8%	71	43.3%	28	17.1%	9	5.5%	40	24.4%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	7	46.7%	1	6.7%	1	6.7%	6	40.0%	15	100.0%
合計	41	7.9%	227	43.7%	111	21.4%	50	9.6%	90	17.3%	519	100.0%

■年代別にみた保健・医療・福祉分野の満足度【障がい者対策】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	6	66.7%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	3	10.3%	7	24.1%	8	27.6%	7	24.1%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	8	17.8%	21	46.7%	7	15.6%	4	8.9%	5	11.1%	45	100.0%
50歳代	9	8.6%	47	44.8%	28	26.7%	9	8.6%	12	11.4%	105	100.0%
60歳代	16	10.5%	61	40.1%	32	21.1%	8	5.3%	35	23.0%	152	100.0%
70歳以上	11	6.7%	62	37.8%	28	17.1%	2	1.2%	61	37.2%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	5	33.3%	2	13.3%	1	6.7%	7	46.7%	15	100.0%
合計	47	9.1%	209	40.3%	107	20.6%	32	6.2%	124	23.9%	519	100.0%

■年代別にみた保健・医療・福祉分野の満足度【保育・子育て対策】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	8	88.9%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	7	24.1%	11	37.9%	6	20.7%	3	10.3%	2	6.9%	29	100.0%
40歳代	7	15.6%	18	40.0%	7	15.6%	5	11.1%	8	17.8%	45	100.0%
50歳代	18	17.1%	45	42.9%	24	22.9%	4	3.8%	14	13.3%	105	100.0%
60歳代	22	14.5%	73	48.0%	15	9.9%	7	4.6%	35	23.0%	152	100.0%
70歳以上	18	11.0%	67	40.9%	12	7.3%	2	1.2%	65	39.6%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	6	40.0%	3	20.0%	0	0.0%	6	40.0%	15	100.0%
合計	72	13.9%	228	43.9%	68	13.1%	21	4.0%	130	25.0%	519	100.0%

- 各分野の満足度のうち、教育分野について、中学生以下の子どもの有無別にみると次のとおりです。

■中学生以下の子どもの有無別にみた教育分野の満足度【幼児教育】(MA)

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小中学生の子どもがいる	6	8.8%	39	57.4%	10	14.7%	4	5.9%	9	13.2%	68	100.0%
小学生未満の子どもがいる	7	20.6%	16	47.1%	8	23.5%	1	2.9%	2	5.9%	34	100.0%
小中学生までの子どもはいない	42	11.8%	173	48.6%	37	10.4%	16	4.5%	88	24.7%	356	100.0%
無回答	3	4.2%	25	35.2%	4	5.6%	0	0.0%	39	54.9%	71	100.0%
合計	56	100.0%	247	100.0%	57	100.0%	21	100.0%	138	100.0%	519	100.0%

■中学生以下の子どもの有無別にみた教育分野の満足度【小・中学校の教育】(MA)

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 小中学生の子どもがいる	6	8.8%	39	57.4%	10	14.7%	6	8.8%	7	10.3%	68	100.0%
2 小学生未満の子どもがいる	7	20.6%	14	41.2%	9	26.5%	2	5.9%	2	5.9%	34	100.0%
3 小中学生までの子どもはいない	39	11.0%	180	50.6%	41	11.5%	13	3.7%	83	23.3%	356	100.0%
99 無回答	4	5.6%	24	33.8%	7	9.9%	0	0.0%	36	50.7%	71	100.0%
合計	54	100.0%	251	100.0%	66	100.0%	20	100.0%	128	100.0%	519	100.0%

- 各分野の満足度のうち、学習・文化分野について、年代別にみると次のとおりです。

■年代別にみた学習・文化分野の満足度【生涯学習】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	6	66.7%	3	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	3	10.3%	11	37.9%	10	34.5%	2	6.9%	3	10.3%	29	100.0%
40歳代	4	8.9%	25	55.6%	8	17.8%	2	4.4%	6	13.3%	45	100.0%
50歳代	8	7.6%	51	48.6%	25	23.8%	6	5.7%	15	14.3%	105	100.0%
60歳代	14	9.2%	69	45.4%	23	15.1%	9	5.9%	37	24.3%	152	100.0%
70歳以上	10	6.1%	66	40.2%	21	12.8%	3	1.8%	64	39.0%	164	100.0%
無回答	1	6.7%	3	20.0%	4	26.7%	1	6.7%	6	40.0%	15	100.0%
合計	40	7.7%	231	44.5%	94	18.1%	23	4.4%	131	25.2%	519	100.0%

■年代別にみた学習・文化分野の満足度【スポーツ振興】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	1	11.1%	5	55.6%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	3	10.3%	11	37.9%	9	31.0%	3	10.3%	3	10.3%	29	100.0%
40歳代	4	8.9%	19	42.2%	12	26.7%	4	8.9%	6	13.3%	45	100.0%
50歳代	9	8.6%	48	45.7%	26	24.8%	8	7.6%	14	13.3%	105	100.0%
60歳代	13	8.6%	62	40.8%	28	18.4%	11	7.2%	38	25.0%	152	100.0%
70歳以上	11	6.7%	70	42.7%	19	11.6%	2	1.2%	62	37.8%	164	100.0%
無回答	2	13.3%	2	13.3%	3	20.0%	1	6.7%	7	46.7%	15	100.0%
合計	43	8.3%	217	41.8%	99	19.1%	30	5.8%	130	25.0%	519	100.0%

■年代別にみた学習・文化分野の満足度【歴史・文化財の保全・活用】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	6	20.7%	7	24.1%	10	34.5%	3	10.3%	3	10.3%	29	100.0%
40歳代	3	6.7%	20	44.4%	13	28.9%	4	8.9%	5	11.1%	45	100.0%
50歳代	7	6.7%	43	41.0%	30	28.6%	9	8.6%	16	15.2%	105	100.0%
60歳代	10	6.6%	57	37.5%	40	26.3%	9	5.9%	36	23.7%	152	100.0%
70歳以上	8	4.9%	59	36.0%	27	16.5%	7	4.3%	63	38.4%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	3	20.0%	3	20.0%	2	13.3%	7	46.7%	15	100.0%
合計	34	6.6%	194	37.4%	127	24.5%	34	6.6%	130	25.0%	519	100.0%

- 各分野の満足度のうち、生活環境・都市基盤について、居住地区別にみると次のとおりです。

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【道路整備】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	3	5.6%	24	44.4%	11	20.4%	10	18.5%	6	11.1%	54	100.0%
太田名部	7	11.7%	18	30.0%	20	33.3%	8	13.3%	7	11.7%	60	100.0%
旭日区	0	0.0%	24	60.0%	5	12.5%	4	10.0%	7	17.5%	40	100.0%
中央区	5	13.5%	19	51.4%	5	13.5%	1	2.7%	7	18.9%	37	100.0%
上区	9	12.3%	37	50.7%	10	13.7%	2	2.7%	15	20.5%	73	100.0%
緑区	7	23.3%	12	40.0%	4	13.3%	0	0.0%	7	23.3%	30	100.0%
力持	1	14.3%	3	42.9%	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	2	11.8%	5	29.4%	4	23.5%	1	5.9%	5	29.4%	17	100.0%
白井	6	10.3%	22	37.9%	12	20.7%	8	13.8%	10	17.2%	58	100.0%
堀内	5	5.9%	28	32.9%	23	27.1%	10	11.8%	19	22.4%	85	100.0%
茂市	1	7.7%	7	53.8%	1	7.7%	2	15.4%	2	15.4%	13	100.0%
芦渡	5	26.3%	7	36.8%	2	10.5%	3	15.8%	2	10.5%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	2	28.6%	4	57.1%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	1	5.3%	6	31.6%	2	10.5%	4	21.1%	6	31.6%	19	100.0%
合計	52	10.0%	214	41.2%	106	20.4%	53	10.2%	94	18.1%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【除雪・排雪】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	5	9.3%	20	37.0%	17	31.5%	9	16.7%	3	5.6%	54	100.0%
太田名部	2	3.3%	15	25.0%	21	35.0%	17	28.3%	5	8.3%	60	100.0%
旭日区	0	0.0%	14	35.0%	14	35.0%	8	20.0%	4	10.0%	40	100.0%
中央区	2	5.4%	10	27.0%	14	37.8%	5	13.5%	6	16.2%	37	100.0%
上区	7	9.6%	26	35.6%	21	28.8%	7	9.6%	12	16.4%	73	100.0%
緑区	6	20.0%	9	30.0%	7	23.3%	3	10.0%	5	16.7%	30	100.0%
力持	0	0.0%	1	14.3%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	4	23.5%	2	11.8%	5	29.4%	1	5.9%	5	29.4%	17	100.0%
白井	4	6.9%	22	37.9%	10	17.2%	14	24.1%	8	13.8%	58	100.0%
堀内	3	3.5%	28	32.9%	26	30.6%	15	17.6%	13	15.3%	85	100.0%
茂市	1	7.7%	4	30.8%	3	23.1%	2	15.4%	3	23.1%	13	100.0%
芦渡	5	26.3%	6	31.6%	3	15.8%	3	15.8%	2	10.5%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	4	57.1%	2	28.6%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	3	15.8%	7	36.8%	0	0.0%	4	21.1%	5	26.3%	19	100.0%
合計	42	8.1%	168	32.4%	149	28.7%	88	17.0%	72	13.9%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【公共交通（バス・鉄道）】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	3	5.6%	24	44.4%	15	27.8%	3	5.6%	9	16.7%	54	100.0%
太田名部	2	3.3%	30	50.0%	17	28.3%	2	3.3%	9	15.0%	60	100.0%
旭日区	1	2.5%	22	55.0%	8	20.0%	3	7.5%	6	15.0%	40	100.0%
中央区	5	13.5%	17	45.9%	8	21.6%	2	5.4%	5	13.5%	37	100.0%
上区	7	9.6%	29	39.7%	17	23.3%	4	5.5%	16	21.9%	73	100.0%
緑区	5	16.7%	13	43.3%	5	16.7%	0	0.0%	7	23.3%	30	100.0%
力持	0	0.0%	2	28.6%	5	71.4%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	5	29.4%	4	23.5%	2	11.8%	1	5.9%	5	29.4%	17	100.0%
白井	5	8.6%	20	34.5%	17	29.3%	8	13.8%	8	13.8%	58	100.0%
堀内	5	5.9%	38	44.7%	15	17.6%	9	10.6%	18	21.2%	85	100.0%
茂市	1	7.7%	8	61.5%	1	7.7%	0	0.0%	3	23.1%	13	100.0%
芦渡	8	42.1%	6	31.6%	1	5.3%	2	10.5%	2	10.5%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	5	71.4%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	1	5.3%	8	42.1%	4	21.1%	1	5.3%	5	26.3%	19	100.0%
合計	48	9.2%	226	43.5%	116	22.4%	35	6.7%	94	18.1%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【公園・緑地整備】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	2	3.7%	20	37.0%	18	33.3%	5	9.3%	9	16.7%	54	100.0%
太田名部	2	3.3%	22	36.7%	19	31.7%	8	13.3%	9	15.0%	60	100.0%
旭日区	0	0.0%	12	30.0%	17	42.5%	5	12.5%	6	15.0%	40	100.0%
中央区	1	2.7%	10	27.0%	12	32.4%	5	13.5%	9	24.3%	37	100.0%
上区	7	9.6%	17	23.3%	25	34.2%	7	9.6%	17	23.3%	73	100.0%
緑区	6	20.0%	12	40.0%	4	13.3%	2	6.7%	6	20.0%	30	100.0%
力持	0	0.0%	2	28.6%	5	71.4%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	1	5.9%	5	29.4%	5	29.4%	1	5.9%	5	29.4%	17	100.0%
白井	4	6.9%	17	29.3%	18	31.0%	8	13.8%	11	19.0%	58	100.0%
堀内	6	7.1%	26	30.6%	23	27.1%	11	12.9%	19	22.4%	85	100.0%
茂市	0	0.0%	7	53.8%	3	23.1%	0	0.0%	3	23.1%	13	100.0%
芦渡	3	15.8%	8	42.1%	1	5.3%	1	5.3%	6	31.6%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	2	28.6%	3	42.9%	1	14.3%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	0	0.0%	7	36.8%	2	10.5%	5	26.3%	5	26.3%	19	100.0%
合計	32	6.2%	167	32.2%	155	29.9%	59	11.4%	106	20.4%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【ごみ収集・処理】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	6	11.1%	30	55.6%	7	13.0%	5	9.3%	6	11.10%	54	100.0%
太田名部	11	18.3%	33	55.0%	9	15.0%	0	0.0%	7	11.70%	60	100.0%
旭日区	3	7.5%	25	62.5%	6	15.0%	1	2.5%	5	12.50%	40	100.0%
中央区	7	18.9%	16	43.2%	6	16.2%	2	5.4%	6	16.20%	37	100.0%
上区	17	23.3%	38	52.1%	4	5.5%	2	2.7%	12	16.40%	73	100.0%
緑区	8	26.7%	12	40.0%	1	3.3%	2	6.7%	7	23.30%	30	100.0%
力持	0	0.0%	4	57.1%	2	28.6%	1	14.3%	0	0.00%	7	100.0%
鳥居	3	17.6%	8	47.1%	1	5.9%	1	5.9%	4	23.50%	17	100.0%
白井	14	24.1%	25	43.1%	6	10.3%	5	8.6%	8	13.80%	58	100.0%
堀内	16	18.8%	43	50.6%	10	11.8%	3	3.5%	13	15.30%	85	100.0%
茂市	2	15.4%	5	38.5%	3	23.1%	0	0.0%	3	23.10%	13	100.0%
芦渡	7	36.8%	7	36.8%	1	5.3%	3	15.8%	1	5.30%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	5	71.4%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.30%	7	100.0%
無回答	2	10.5%	5	26.3%	4	21.1%	2	10.5%	6	31.60%	19	100.0%
合計	96	18.5%	256	49.3%	61	11.8%	27	5.2%	79	15.20%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【下水処理】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	3	5.6%	18	33.3%	19	35.2%	6	11.1%	8	14.8%	54	100.0%
太田名部	17	28.3%	25	41.7%	8	13.3%	3	5.0%	7	11.7%	60	100.0%
旭日区	1	2.5%	12	30.0%	10	25.0%	10	25.0%	7	17.5%	40	100.0%
中央区	2	5.4%	12	32.4%	14	37.8%	2	5.4%	7	18.9%	37	100.0%
上区	6	8.2%	16	21.9%	21	28.8%	12	16.4%	18	24.7%	73	100.0%
緑区	5	16.7%	12	40.0%	4	13.3%	0	0.0%	9	30.0%	30	100.0%
力持	0	0.0%	2	28.6%	3	42.9%	2	28.6%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	1	5.9%	5	29.4%	3	17.6%	2	11.8%	6	35.3%	17	100.0%
白井	6	10.3%	17	29.3%	14	24.1%	9	15.5%	12	20.7%	58	100.0%
堀内	3	3.5%	23	27.1%	27	31.8%	12	14.1%	20	23.5%	85	100.0%
茂市	1	7.7%	6	46.2%	1	7.7%	2	15.4%	3	23.1%	13	100.0%
芦渡	1	5.3%	7	36.8%	3	15.8%	2	10.5%	6	31.6%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	0	0.0%	4	21.1%	4	21.1%	6	31.6%	5	26.3%	19	100.0%
合計	46	8.9%	161	31.0%	133	25.6%	70	13.5%	109	21.0%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【消防・防災】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	5	9.3%	38	70.4%	6	11.1%	0	0.0%	5	9.3%	54	100.0%
太田名部	12	20.0%	34	56.7%	6	10.0%	1	1.7%	7	11.7%	60	100.0%
旭日区	3	7.5%	24	60.0%	5	12.5%	3	7.5%	5	12.5%	40	100.0%
中央区	7	18.9%	20	54.1%	2	5.4%	1	2.7%	7	18.9%	37	100.0%
上区	15	20.5%	35	47.9%	6	8.2%	1	1.4%	16	21.9%	73	100.0%
緑区	9	30.0%	13	43.3%	2	6.7%	0	0.0%	6	20.0%	30	100.0%
力持	1	14.3%	4	57.1%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	3	17.6%	6	35.3%	2	11.8%	0	0.0%	6	35.3%	17	100.0%
白井	13	22.4%	25	43.1%	8	13.8%	3	5.2%	9	15.5%	58	100.0%
堀内	8	9.4%	46	54.1%	13	15.3%	1	1.2%	17	20.0%	85	100.0%
茂市	2	15.4%	8	61.5%	1	7.7%	0	0.0%	2	15.4%	13	100.0%
芦渡	5	26.3%	8	42.1%	1	5.3%	1	5.3%	4	21.1%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	3	15.8%	5	26.3%	3	15.8%	2	10.5%	6	31.6%	19	100.0%
合計	86	16.6%	272	52.4%	56	10.8%	14	2.7%	91	17.5%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【治安・防犯】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	5	9.3%	33	61.1%	7	13.0%	0	0.0%	9	16.7%	54	100.0%
太田名部	14	23.3%	32	53.3%	5	8.3%	0	0.0%	9	15.0%	60	100.0%
旭日区	3	7.5%	22	55.0%	9	22.5%	1	2.5%	5	12.5%	40	100.0%
中央区	9	24.3%	16	43.2%	5	13.5%	0	0.0%	7	18.9%	37	100.0%
上区	8	11.0%	39	53.4%	5	6.8%	1	1.4%	20	27.4%	73	100.0%
緑区	9	30.0%	13	43.3%	1	3.3%	0	0.0%	7	23.3%	30	100.0%
力持	2	28.6%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	3	17.6%	7	41.2%	2	11.8%	0	0.0%	5	29.4%	17	100.0%
白井	10	17.2%	23	39.7%	11	19.0%	3	5.2%	11	19.0%	58	100.0%
堀内	13	15.3%	41	48.2%	7	8.2%	3	3.5%	21	24.7%	85	100.0%
茂市	2	15.4%	7	53.8%	1	7.7%	0	0.0%	3	23.1%	13	100.0%
芦渡	4	21.1%	7	36.8%	1	5.3%	1	5.3%	6	31.6%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	2	10.5%	6	31.6%	3	15.8%	2	10.5%	6	31.6%	19	100.0%
合計	84	16.2%	256	49.3%	58	11.2%	11	2.1%	110	21.2%	519	100.0%

■居住地区別にみた生活環境・都市基盤の満足度【交通安全】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
黒崎	6	11.1%	32	59.3%	8	14.8%	0	0.0%	8	14.8%	54	100.0%
太田名部	9	15.0%	34	56.7%	9	15.0%	0	0.0%	8	13.3%	60	100.0%
旭日区	3	7.5%	19	47.5%	7	17.5%	5	12.5%	6	15.0%	40	100.0%
中央区	8	21.6%	19	51.4%	1	2.7%	1	2.7%	8	21.6%	37	100.0%
上区	7	9.6%	42	57.5%	5	6.8%	1	1.4%	18	24.7%	73	100.0%
緑区	8	26.7%	12	40.0%	4	13.3%	0	0.0%	6	20.0%	30	100.0%
力持	1	14.3%	5	71.4%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
鳥居	4	23.5%	6	35.3%	1	5.9%	0	0.0%	6	35.3%	17	100.0%
白井	9	15.5%	22	37.9%	11	19.0%	3	5.2%	13	22.4%	58	100.0%
堀内	9	10.6%	46	54.1%	6	7.1%	3	3.5%	21	24.7%	85	100.0%
茂市	1	7.7%	8	61.5%	1	7.7%	0	0.0%	3	23.1%	13	100.0%
芦渡	5	26.3%	8	42.1%	2	10.5%	1	5.3%	3	15.8%	19	100.0%
萩牛	0	0.0%	5	71.4%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
無回答	3	15.8%	6	31.6%	1	5.3%	3	15.8%	6	31.6%	19	100.0%
合計	73	14.1%	264	50.9%	58	11.2%	17	3.3%	107	20.6%	519	100.0%

- 各分野の満足度のうち、まちづくり・行財政分野について、年代別にみると次のとおりです。

■年代別にみたまちづくり・行財政分野の満足度【男女共同参画】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	1	11.1%	4	44.4%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	4	13.8%	7	24.1%	11	37.9%	3	10.3%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	2	4.4%	22	48.9%	11	24.4%	4	8.9%	6	13.3%	45	100.0%
50歳代	5	4.8%	42	40.0%	31	29.5%	10	9.5%	17	16.2%	105	100.0%
60歳代	8	5.3%	48	31.6%	47	30.9%	11	7.2%	38	25.0%	152	100.0%
70歳以上	5	3.0%	55	33.5%	35	21.3%	5	3.0%	64	39.0%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	4	26.7%	3	20.0%	1	6.7%	7	46.7%	15	100.0%
合計	25	4.8%	182	35.1%	142	27.4%	34	6.6%	136	26.2%	519	100.0%

■年代別にみたまちづくり・行財政分野の満足度【地域の情報化】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	2	6.9%	11	37.9%	7	24.1%	5	17.2%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	2	4.4%	22	48.9%	8	17.8%	8	17.8%	5	11.1%	45	100.0%
50歳代	7	6.7%	47	44.8%	28	26.7%	11	10.5%	12	11.4%	105	100.0%
60歳代	6	3.9%	55	36.2%	44	28.9%	11	7.2%	36	23.7%	152	100.0%
70歳以上	10	6.1%	61	37.2%	32	19.5%	2	1.2%	59	36.0%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	2	13.3%	4	26.7%	2	13.3%	7	46.7%	15	100.0%
合計	27	5.2%	203	39.1%	127	24.5%	39	7.5%	123	23.7%	519	100.0%

■年代別にみたまちづくり・行財政分野の満足度【地域振興（コミュニティづくり）】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	2	6.9%	10	34.5%	9	31.0%	4	13.8%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	2	4.4%	20	44.4%	13	28.9%	5	11.1%	5	11.1%	45	100.0%
50歳代	7	6.7%	38	36.2%	38	36.2%	9	8.6%	13	12.4%	105	100.0%
60歳代	5	3.3%	53	34.9%	48	31.6%	10	6.6%	36	23.7%	152	100.0%
70歳以上	7	4.3%	55	33.5%	37	22.6%	5	3.0%	60	36.6%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	1	6.7%	4	26.7%	2	13.3%	8	53.3%	15	100.0%
合計	23	4.4%	181	34.9%	154	29.7%	35	6.7%	126	24.3%	519	100.0%

■年代別にみたまちづくり・行財政分野の満足度【近隣市町村との交流・連携】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	2	6.9%	9	31.0%	10	34.5%	4	13.8%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	2	4.4%	13	28.9%	15	33.3%	9	20.0%	6	13.3%	45	100.0%
50歳代	3	2.9%	32	30.5%	41	39.0%	14	13.3%	15	14.3%	105	100.0%
60歳代	4	2.6%	44	28.9%	55	36.2%	17	11.2%	32	21.1%	152	100.0%
70歳以上	6	3.7%	55	33.5%	43	26.2%	4	2.4%	56	34.1%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	1	6.7%	3	20.0%	5	33.3%	6	40.0%	15	100.0%
合計	17	3.3%	159	30.6%	171	32.9%	53	10.2%	119	22.9%	519	100.0%

■年代別にみたまちづくり・行財政分野の満足度【省エネ・新エネ対策】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	2	6.9%	8	27.6%	11	37.9%	4	13.8%	4	13.8%	29	100.0%
40歳代	2	4.4%	14	31.1%	15	33.3%	8	17.8%	6	13.3%	45	100.0%
50歳代	2	1.9%	37	35.2%	37	35.2%	15	14.3%	14	13.3%	105	100.0%
60歳代	2	1.3%	51	33.6%	43	28.3%	13	8.6%	43	28.3%	152	100.0%
70歳以上	3	1.8%	52	31.7%	42	25.6%	4	2.4%	63	38.4%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	1	6.7%	5	33.3%	3	20.0%	6	40.0%	15	100.0%
合計	11	2.1%	167	32.2%	158	30.4%	47	9.1%	136	26.2%	519	100.0%

■年代別にみたまちづくり・行財政分野の満足度【行財政運営】

	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	0	0.0%	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
30歳代	3	10.3%	8	27.6%	10	34.5%	5	17.2%	3	10.3%	29	100.0%
40歳代	4	8.9%	17	37.8%	13	28.9%	6	13.3%	5	11.1%	45	100.0%
50歳代	4	3.8%	34	32.4%	36	34.3%	17	16.2%	14	13.3%	105	100.0%
60歳代	7	4.6%	52	34.2%	39	25.7%	14	9.2%	40	26.3%	152	100.0%
70歳以上	6	3.7%	61	37.2%	36	22.0%	7	4.3%	54	32.9%	164	100.0%
無回答	0	0.0%	2	13.3%	5	33.3%	1	6.7%	7	46.7%	15	100.0%
合計	24	4.6%	178	34.3%	144	27.7%	50	9.6%	123	23.7%	519	100.0%

問9 はまゆり子ども園と放課後子ども教室の利用満足度についてお聞きします。

(1つに○)

＜利用満足度は「はまゆり子ども園」が22.0%、「放課後子ども教室」が17.2%＞

はまゆり子ども園と放課子ども教室の利用満足度についてたずねたところ、「利用したことがない」がそれぞれ、49.3%、50.3%で最も高くなっています。

利用満足度について、はまゆり子ども園は、「満足」が8.5%、「やや満足」が13.5%で合わせて22.0%となり、放課後子ども教室については、「満足」が5.8%、「やや満足」が11.4%で、合わせて17.2%となっています。

一方、「やや不満」と「不満」の合計は、はまゆり子ども園が4.0%、放課後子ども教室が3.9%となっています。

(1) はまゆり子ども園

	人数	割合
満足	44	8.5%
やや満足	70	13.5%
やや不満	13	2.5%
不満	8	1.5%
利用したことがない	256	49.3%
無回答	128	24.7%
合計	519	100.0%

(2) 放課後子ども教室

	人数	割合
満足	30	5.8%
やや満足	59	11.4%
やや不満	14	2.7%
不満	6	1.2%
利用したことがない	261	50.3%
無回答	149	28.7%
合計	519	100.0%

- ▶ はまゆり子ども園と放課後子ども教室について、中学生以下の子どもの有無別にみた満足度は次のとおりです。

■中学生以下の子どもの有無別にみた「はまゆり子ども園」の満足度

	満足		やや満足		やや不満		不満		利用したことがない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小中学生の子どもがいる	11	16.2%	21	30.9%	5	7.4%	3	4.4%	16	23.5%	12	17.6%	68	100.0%
小学生未満の子どもがいる	8	23.5%	10	29.4%	4	11.8%	2	5.9%	7	20.6%	3	8.8%	34	100.0%
小中学生までの子どもはいない	26	7.3%	37	10.4%	4	1.1%	3	0.8%	209	58.7%	77	21.6%	356	100.0%
無回答	2	2.8%	6	8.5%	2	2.8%	0	0.0%	24	33.8%	37	52.1%	71	100.0%
合計	44	100.0%	70	100.0%	13	100.0%	8	1.5%	256	100.0%	128	100.0%	519	100.0%

■中学生以下の子どもの有無別にみた「放課後子ども教室」の満足度

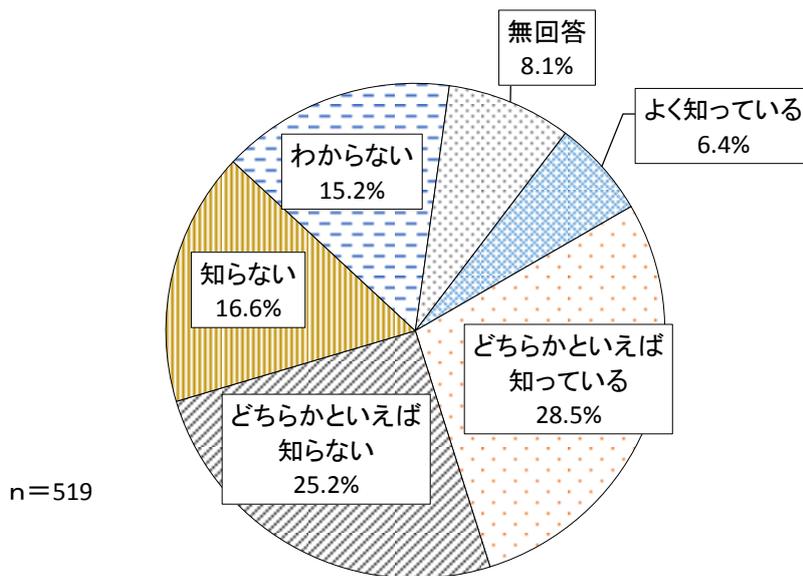
	満足		やや満足		やや不満		不満		利用したことがない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小中学生の子どもがいる	8	11.8%	18	26.5%	5	7.4%	3	4.4%	21	30.9%	13	19.1%	68	100.0%
小学生未満の子どもがいる	1	2.9%	7	20.6%	2	5.9%	2	5.9%	17	50.0%	5	14.7%	34	100.0%
小中学生までの子どもはいない	21	5.9%	33	9.3%	6	1.7%	2	0.6%	208	58.4%	86	24.2%	356	100.0%
無回答	0	0.0%	5	7.0%	2	2.8%	0	0.0%	17	23.9%	47	66.2%	71	100.0%
合計	30	100.0%	59	100.0%	14	100.0%	6	100.0%	261	100.0%	149	100.0%	519	100.0%

問10 「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識を解消し、男女それぞれが持つ能力を平等に発揮できる社会をめざす「男女協働参画社会」の実現に向けた取り組みについてどの程度ご存知ですか。（1つに○）

＜「男女共同参画社会」の取り組みの認知度は34.9%＞

「男女協働参画社会」の実現に向けた取り組みについてどの程度知っているのかをたずねたところ、「よく知っている」が6.4%、「どちらかといえば知っている」が28.5%となっており、合わせて34.9%の人が認知している状況となっています。

問10 男女共同参画社会の認知度



■年代別にみた「男女共同参画社会」の認知度

	■年代							
	10・20歳代		30歳代		40歳代		50歳代	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	1	11.1%	3	10.3%	0	0.0%	8	7.6%
どちらかといえば知っている	5	55.6%	8	27.6%	11	24.4%	27	25.7%
どちらかといえば知らない	0	0.0%	9	31.0%	19	42.2%	30	28.6%
知らない	1	11.1%	7	24.1%	9	20.0%	23	21.9%
わからない	2	22.2%	2	6.9%	4	8.9%	13	12.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	4.4%	4	3.8%
合計	9	100.0%	29	100.0%	45	100.0%	105	100.0%

	■年代						合計	
	60歳代		70歳以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	11	7.2%	10	6.1%	0	0.0%	33	6.4%
どちらかといえば知っている	54	35.5%	37	22.6%	6	40.0%	148	28.5%
どちらかといえば知らない	40	26.3%	32	19.5%	1	6.7%	131	25.2%
知らない	21	13.8%	24	14.6%	1	6.7%	86	16.6%
わからない	19	12.5%	36	22.0%	3	20.0%	79	15.2%
無回答	7	4.6%	25	15.2%	4	26.7%	42	8.1%
合計	152	100.0%	164	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

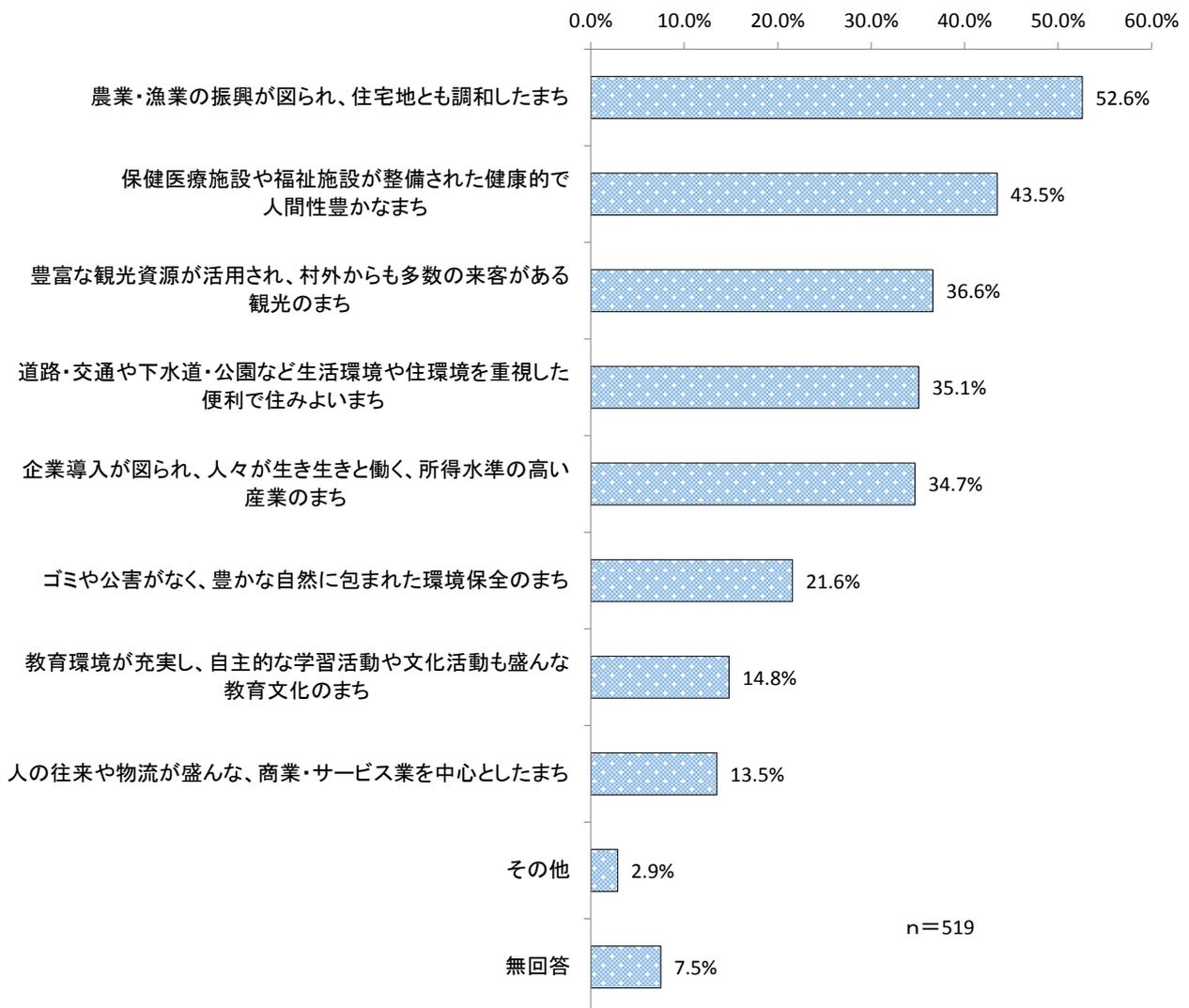
4. 将来展望について

問11 あなたは、将来の普代村がどのような村になることを望みますか。
(3つまでに○)

＜普代村の将来像は「農業・漁業の振興が図られ、住宅地とも調和したまち」が高い＞

望ましい普代村の将来像については、「農業・漁業の振興が図られ、住宅地とも調和したまち」が52.6%で最も高くなっています。次いで、「保健医療施設や福祉施設が整備された健康的で人間性豊かなまち」が43.5%、「豊富な観光資源が活用され、村外からも多数の来客がある観光のまち」が36.6%で上位3項目となっています。

問11 望ましい普代村の将来像



- 望ましい普代村の将来像について、年代別に上位2項目をみると、40~50歳代と60歳代以上については、全体と同じ項目が高くなっていますが、30歳代以下については、「保健医療施設や福祉施設が整備された健康的で人間性豊かなまち」が63.2%で最も高く、次いで、「道路・交通や下水道・公園など生活環境や住環境を重視した便利で住みよいまち」が50.0%となっています。

■年代別にみた望ましい普代村の将来像

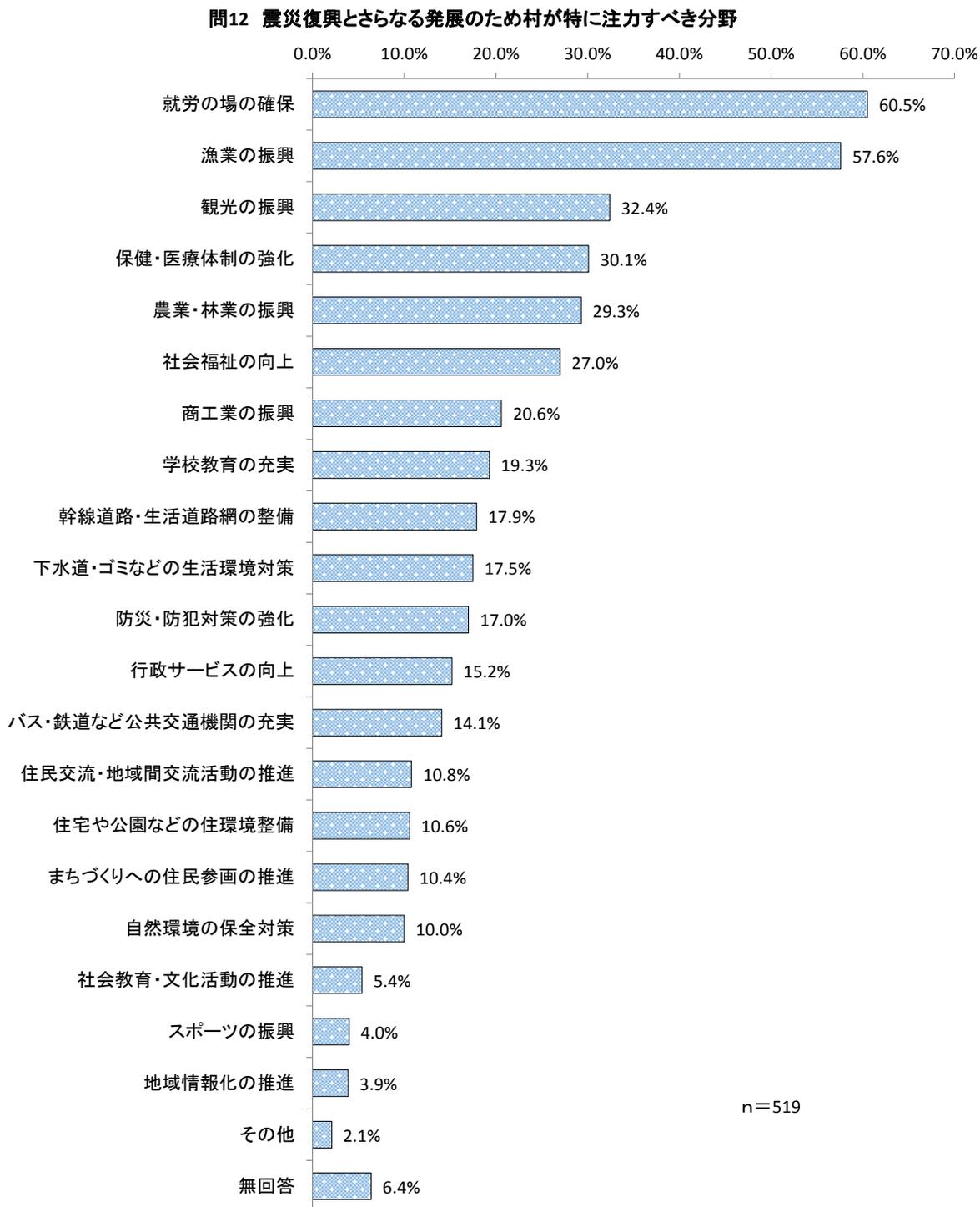
	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40~50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農業・漁業の振興が図られ、住宅地とも調和したまち	18	47.4%	79	52.7%	168	53.2%	8	53.3%	273	52.6%
豊富な観光資源が活用され、村外からも多数の来客がある観光のまち	13	34.2%	60	40.0%	111	35.1%	6	40.0%	190	36.6%
道路・交通や下水道・公園など生活環境や住環境を重視した便利で住みよいまち	19	50.0%	53	35.3%	105	33.2%	5	33.3%	182	35.1%
人の往来や物流が盛んな、商業・サービス業を中心としたまち	10	26.3%	21	14.0%	36	11.4%	3	20.0%	70	13.5%
企業導入が図られ、人々が生き生きと働く、所得水準の高い産業のまち	10	26.3%	57	38.0%	108	34.2%	5	33.3%	180	34.7%
保健医療施設や福祉施設が整備された健康的で人間性豊かなまち	24	63.2%	64	42.7%	134	42.4%	4	26.7%	226	43.5%
教育環境が充実し、自主的な学習活動や文化活動も盛んな教育文化のまち	15	39.5%	25	16.7%	36	11.4%	1	6.7%	77	14.8%
ゴミや公害がなく、豊かな自然に包まれた環境保全のまち	5	13.2%	31	20.7%	73	23.1%	3	20.0%	112	21.6%
その他	1	2.6%	2	1.3%	10	3.2%	2	13.3%	15	2.9%
無回答	0	0.0%	7	4.7%	29	9.2%	3	20.0%	39	7.5%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問12 現状に対する評価は別として、今後、村が震災からの復興とさらなる発展のため特に力を入れていくべきだと思う分野はどの分野ですか。（5つまでに○）

＜震災復興で力を入れる分野は「就労の場の確保」と「漁業の振興」が高い＞

震災からの復興とさらなる発展のために特に力を入れるべき分野については、「就労の場の確保」が60.5%で最も高くなり、次いで、「漁業の振興」が57.6%となっています。

あとは、「観光の振興」が32.4%、「保健・医療体制の強化」が30.1%、「農業・林業の振興」が29.3%となっています。



- 震災からの復興とさらなる発展のために特に力を入れるべき分野について、年代別に上位2項目をみると、全体の集計結果と同様に「就労の場の確保」と「漁業の振興」が高くなっています。

■年代別にみた震災復興等のために力を入れるべき分野

	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農業・林業の振興	12	31.6%	38	25.3%	96	30.4%	6	40.0%	152	29.3%
漁業の振興	19	50.0%	88	58.7%	184	58.2%	8	53.3%	299	57.6%
商工業の振興	11	28.9%	29	19.3%	65	20.6%	2	13.3%	107	20.6%
観光の振興	17	44.7%	51	34.0%	95	30.1%	5	33.3%	168	32.4%
就労の場の確保	26	68.4%	98	65.3%	184	58.2%	6	40.0%	314	60.5%
社会福祉の向上	11	28.9%	46	30.7%	78	24.7%	5	33.3%	140	27.0%
保健・医療体制の強化	14	36.8%	39	26.0%	99	31.3%	4	26.7%	156	30.1%
学校教育の充実	10	26.3%	34	22.7%	53	16.8%	3	20.0%	100	19.3%
社会教育・文化活動の推進	2	5.3%	8	5.3%	18	5.7%	0	0.0%	28	5.4%
スポーツの振興	0	0.0%	7	4.7%	12	3.8%	2	13.3%	21	4.0%
幹線道路・生活道路網の整備	5	13.2%	34	22.7%	50	15.8%	4	26.7%	93	17.9%
バス・鉄道など公共交通機関の充実	6	15.8%	20	13.3%	44	13.9%	3	20.0%	73	14.1%
住宅や公園などの住環境整備	10	26.3%	15	10.0%	27	8.5%	3	20.0%	55	10.6%
下水道・ゴミなどの生活環境対策	2	5.3%	18	12.0%	69	21.8%	2	13.3%	91	17.5%
自然環境の保全対策	4	10.5%	18	12.0%	28	8.9%	2	13.3%	52	10.0%
防災・防犯対策の強化	7	18.4%	26	17.3%	54	17.1%	1	6.7%	88	17.0%
地域情報化の推進	4	10.5%	7	4.7%	9	2.8%	0	0.0%	20	3.9%
住民交流・地域間交流活動の推進	3	7.9%	14	9.3%	38	12.0%	1	6.7%	56	10.8%
まちづくりへの住民参画の推進	6	15.8%	14	9.3%	33	10.4%	1	6.7%	54	10.4%
行政サービスの向上	2	5.3%	22	14.7%	54	17.1%	1	6.7%	79	15.2%
その他	1	2.6%	2	1.3%	8	2.5%	0	0.0%	11	2.1%
無回答	0	0.0%	6	4.0%	24	7.6%	3	20.0%	33	6.4%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

5. 人口減少に対する意識について

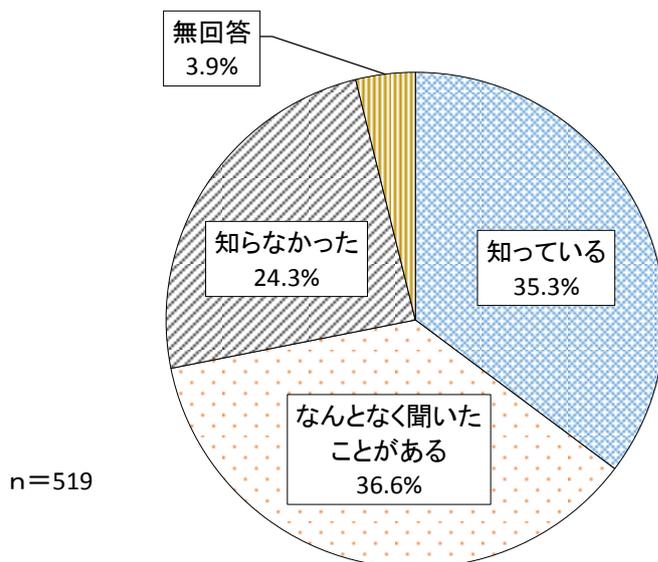
問13 普代村の人口減少については、現在2,870人の村の人口ですが、2040年には1,762人に減少すると国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。あなたはこの推計結果を知っていましたか。（1つに○）

<社人研の推計結果については「知っている」は35.3%>

普代村の人口減少に関する国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計結果について、「知っている」は35.3%となっています。「なんとなく聞いたことがある」は36.6%で、「知っている」との回答と合わせて、何らかの形で認知している人は71.9%となっています。

一方、「知らなかった」との回答は24.3%となっています。

問13 人口が減少する推計結果の認知度



■年代別にみた人口が減少する推計結果の認知度

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	13	34.2%	52	34.7%	115	36.4%	3	20.0%	183	35.3%
なんとなく聞いたことがある	14	36.8%	53	35.3%	119	37.7%	4	26.7%	190	36.6%
知らなかった	10	26.3%	42	28.0%	70	22.2%	4	26.7%	126	24.3%
無回答	1	2.6%	3	2.0%	12	3.8%	4	26.7%	20	3.9%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

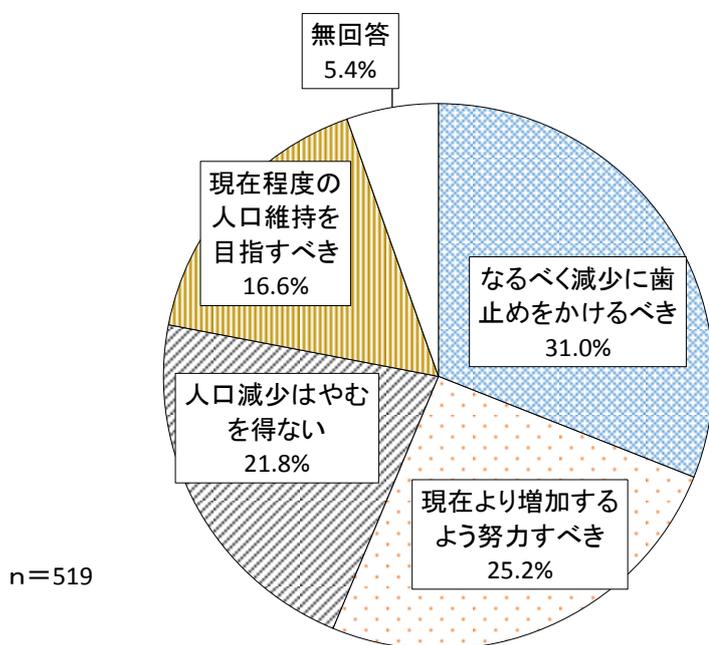
問14 普代村の人口が減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

＜「人口減少に歯止め」と「人口増に向けた努力」を合わせると過半数を超える＞

人口減少に対する対応策についてたずねたところ、「なるべく減少に歯止めをかけるべき」が31.0%で最も高くなり、次いで、「現在より増加するよう努力すべき」が25.2%となっています。人口減少に歯止めをかけ、さらには、人口増に向けた努力を求める人が合わせて56.2%となり、過半数を超えています。

一方、「人口減少はやむを得ない」は21.8%となり、「現在程度の人口維持を目指すべき」は16.6%となっています。

問14 人口減少への望ましい対応策



- 人口減少への望ましい対応策を年代別にみると、30歳代以下と40～50歳代では、全体集計と同様に「なるべく減少に歯止めをかけるべき」が最も高くなっていますが、次いで、「人口減少はやむを得ない」とする回答が高くなっています。

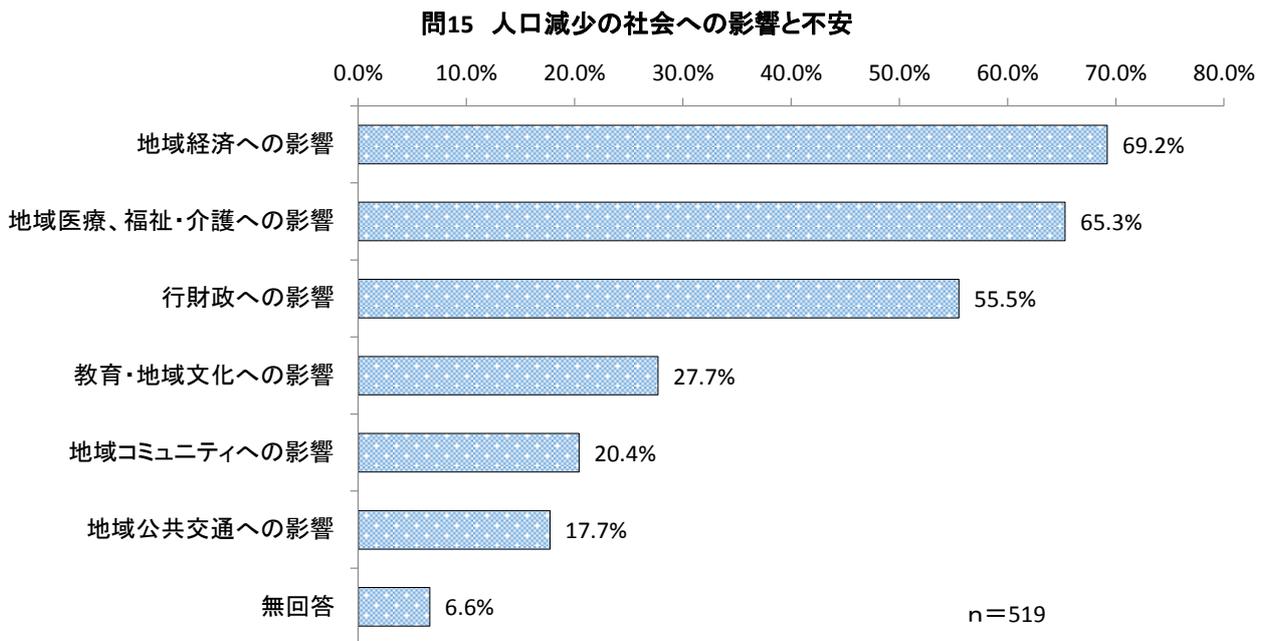
■年代別にみた人口減少への望ましい対応策

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在より増加するよう努力すべき	7	18.4%	36	24.0%	86	27.2%	2	13.3%	131	25.2%
現在程度の人口維持を目指すべき	7	18.4%	23	15.3%	55	17.4%	1	6.7%	86	16.6%
なるべく減少に歯止めをかけるべき	12	31.6%	48	32.0%	97	30.7%	4	26.7%	161	31.0%
人口減少はやむを得ない	11	28.9%	39	26.0%	59	18.7%	4	26.7%	113	21.8%
無回答	1	2.6%	4	2.7%	19	6.0%	4	26.7%	28	5.4%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問15 普代村の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、影響が大きいと考えること、不安に感じることを3つ選んでください。

＜人口減少で「地域経済への影響」と「地域医療、福祉・介護への影響」を懸念＞

人口減少による社会への影響と不安については、「地域経済への影響」が69.2%で最も高くなり、次いで、「地域医療、福祉・介護への影響」が65.3%、「行財政への影響」が55.5%となっています。



➤ 人口減少の社会への影響と不安を年代別にみると、30歳代以下では、「教育・地域文化への影響」が65.8%で最も高くなっています。

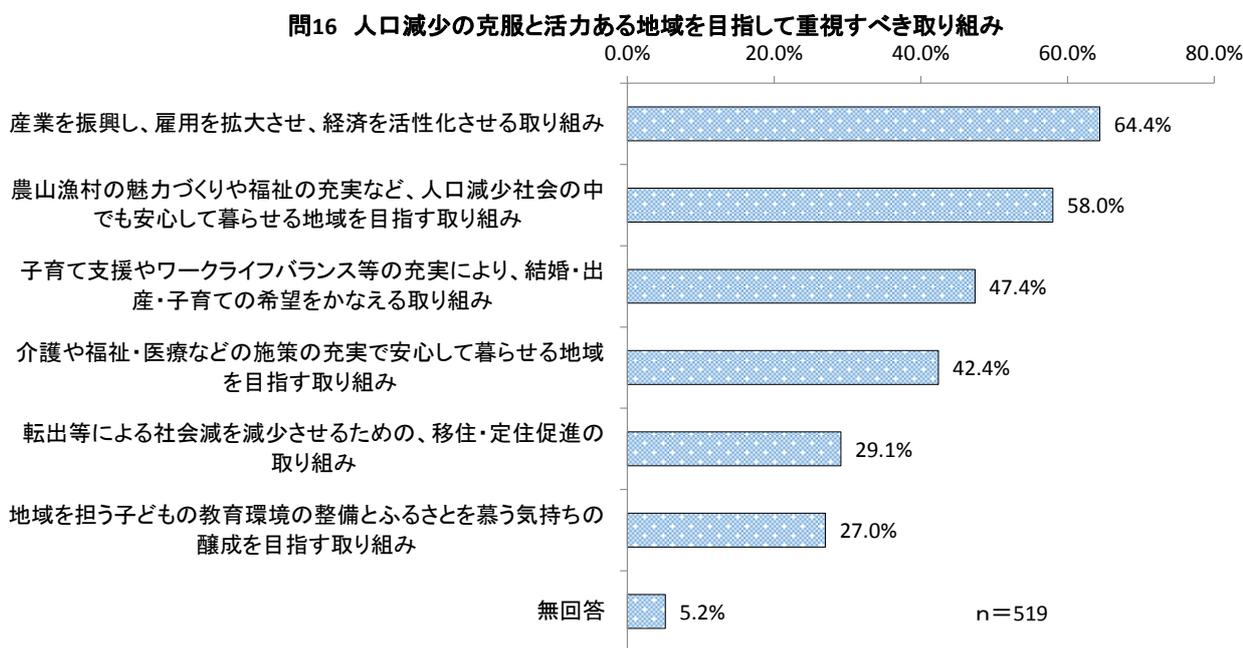
■年代別にみた人口減少の社会への影響と不安

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
地域経済への影響	20	52.6%	113	75.3%	220	69.6%	6	40.0%	359	69.2%
地域医療、福祉・介護への影響	24	63.2%	91	60.7%	217	68.7%	7	46.7%	339	65.3%
教育・地域文化への影響	25	65.8%	41	27.3%	76	24.1%	2	13.3%	144	27.7%
地域公共交通への影響	7	18.4%	22	14.7%	61	19.3%	2	13.3%	92	17.7%
地域コミュニティへの影響	13	34.2%	37	24.7%	56	17.7%	0	0.0%	106	20.4%
行財政への影響	17	44.7%	84	56.0%	181	57.3%	6	40.0%	288	55.5%
無回答	1	2.6%	5	3.3%	23	7.3%	5	33.3%	34	6.6%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問16 人口減少を克服し、活力ある地域を目指して、普代村が今後とりくむべきことについて、最も重視すべきことは何だと思えますか。次の中から3つ選んでください。

＜「産業を振興し、雇用を拡大させ、経済を活性化させる取り組み」が高い＞

人口減少の克服と活力ある地域を目指して重視すべき取り組みについてたずねたところ、「産業を振興し、雇用を拡大させ、経済を活性化させる取り組み」が64.4%で最も高くなり、次いで、「農山漁村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会の中でも安心して暮らせる地域を目指す取り組み」が58.0%、「子育て支援やワークライフバランス等の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組み」が47.4%となっています。



➤ 人口減少の克服と活力ある地域を目指して重視すべき取り組みについて年代別にみると、30歳代以下では、「産業を振興し、雇用を拡大させ、経済を活性化させる取り組み」に次いで、「教育・地域文化への影響」が57.9%で高くなっています。

■年代別にみた人口減少の社会への影響と不安

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
産業を振興し、雇用を拡大させ、経済を活性化させる取り組み	26	68.4%	106	70.7%	195	61.7%	7	46.7%	334	64.4%
転出等による社会減を減少させるための、移住・定住促進の取り組み	15	39.5%	48	32.0%	85	26.9%	3	20.0%	151	29.1%
子育て支援やワークライフバランス等の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組み	22	57.9%	68	45.3%	154	48.7%	2	13.3%	246	47.4%
農山漁村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会の中でも安心して暮らせる地域を目指す取り組み	21	55.3%	82	54.7%	193	61.1%	5	33.3%	301	58.0%
介護や福祉・医療などの施策の充実で安心して暮らせる地域を目指す取り組み	15	39.5%	65	43.3%	134	42.4%	6	40.0%	220	42.4%
地域を担う子どもの教育環境の整備とふるさとを慕う気持ちの醸成を目指す取り組み	12	31.6%	42	28.0%	83	26.3%	3	20.0%	140	27.0%
無回答	1	2.6%	3	2.0%	18	5.7%	5	33.3%	27	5.2%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

6. 人口減少対策の具体的な取り組みについて

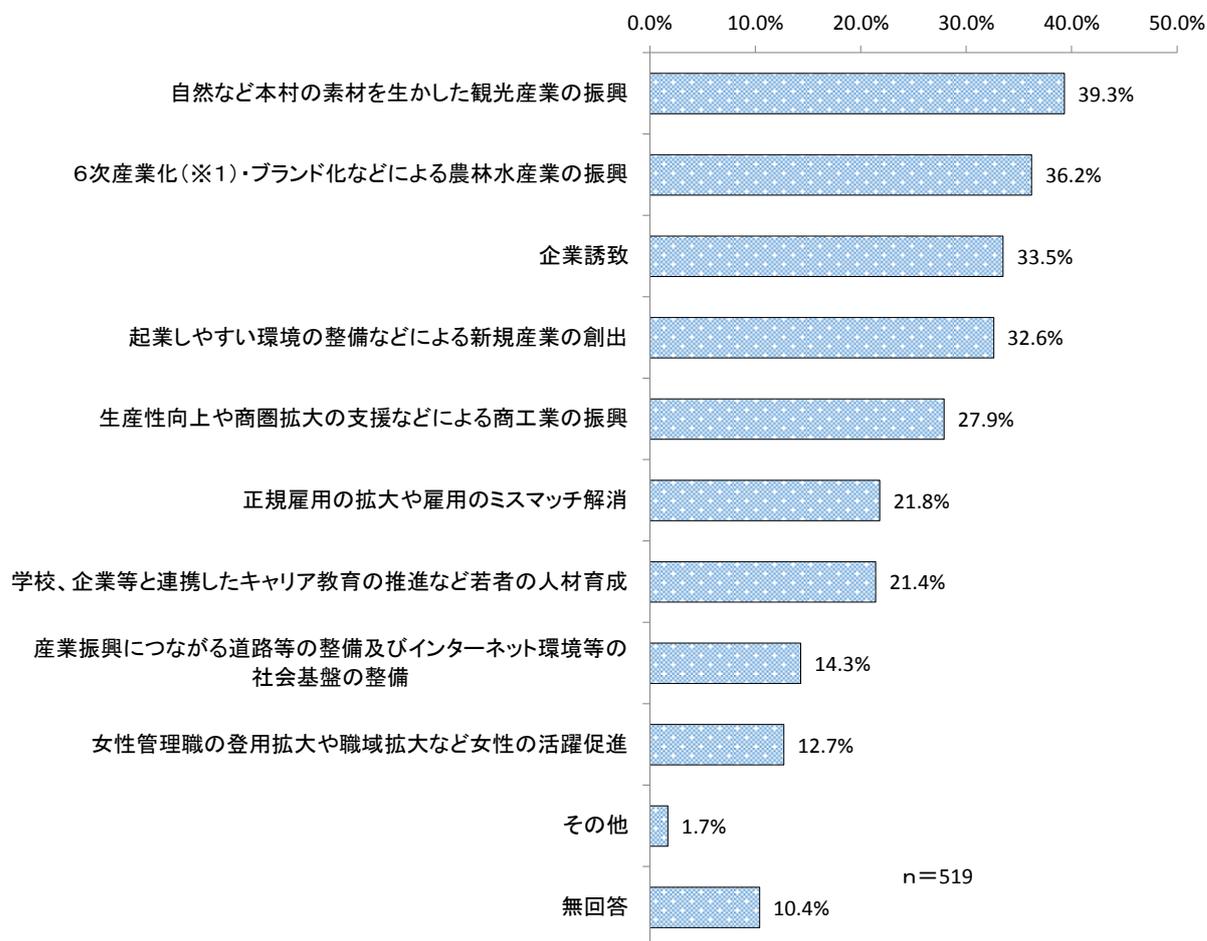
問17 地域経済の活性化を行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。（3つまでに○）

＜地域経済の活性化は「自然など本村の素材を生かした観光産業の振興」が高い＞

地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取り組みについてたずねたところ、「自然など本村の素材を生かした観光産業の振興」が39.3%で最も高くなり、次いで、「6次産業化（※1）・ブランド化などによる農林水産業の振興」が36.2%、「企業誘致」が33.5%となっています。

あとは、「起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が32.6%、「生産性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興」が27.9%となっています。

問17 地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取り組み



※1 6次産業：農林水産業（第1次産業）、食品加工（第2次産業）、流通販売・情報サービス、（第3次産業）を一体化した新たな食農ビジネスの取り組み。

- ▶ 地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、30歳代以下では、「正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ解消」を選ぶ人の割合が44.7%で最も高くなっています。

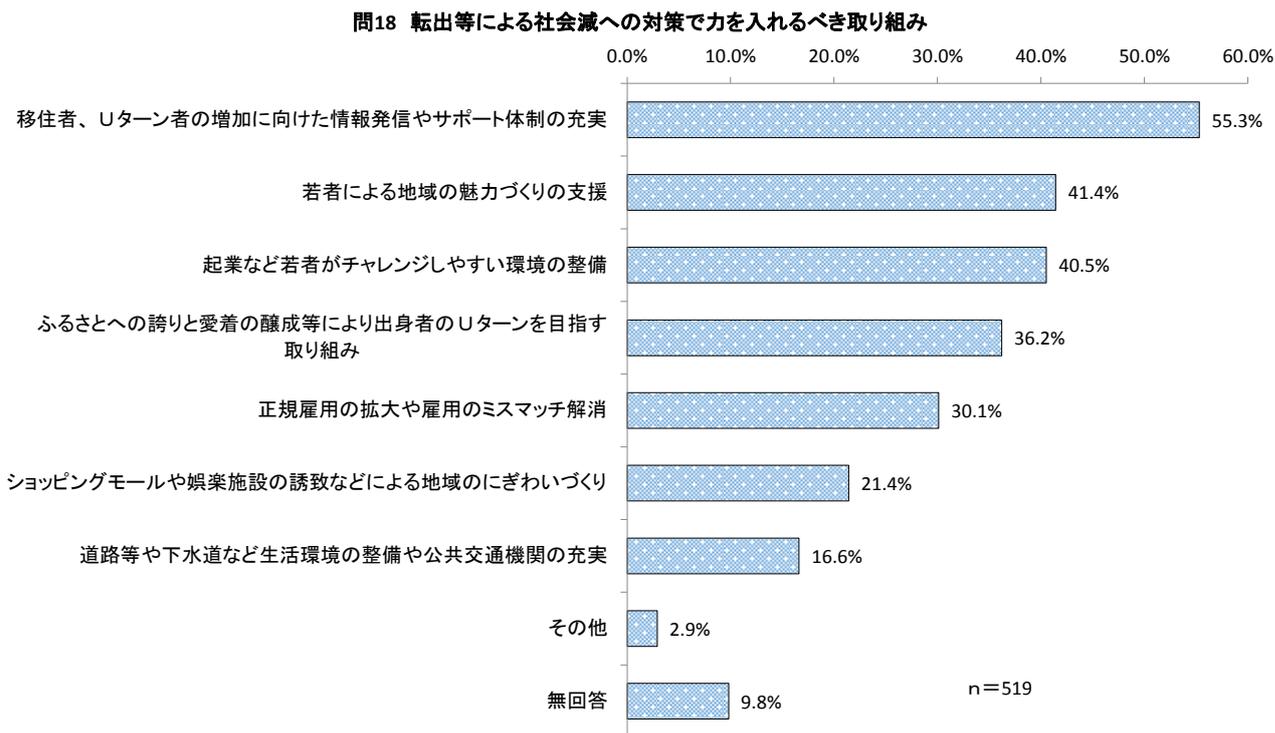
■年代別にみた地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取り組み

	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
企業誘致	15	39.5%	56	37.3%	102	32.3%	1	6.7%	174	33.5%
起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出	8	21.1%	39	26.0%	114	36.1%	8	53.3%	169	32.6%
生産性向上や商圈拡大の支援などによる商工業の振興	16	42.1%	34	22.7%	91	28.8%	4	26.7%	145	27.9%
正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ解消	17	44.7%	47	31.3%	47	14.9%	2	13.3%	113	21.8%
6次産業化(※1)・ブランド化などによる農林水産業の振興	15	39.5%	61	40.7%	108	34.2%	4	26.7%	188	36.2%
女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進	5	13.2%	19	12.7%	41	13.0%	1	6.7%	66	12.7%
自然など本村の素材を生かした観光産業の振興	10	26.3%	61	40.7%	128	40.5%	5	33.3%	204	39.3%
学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成	6	15.8%	31	20.7%	72	22.8%	2	13.3%	111	21.4%
産業振興につながる道路等の整備及びインターネット環境等の社会基盤の整備	8	21.1%	21	14.0%	44	13.9%	1	6.7%	74	14.3%
その他	1	2.6%	4	2.7%	4	1.3%	0	0.0%	9	1.7%
無回答	1	2.6%	7	4.7%	41	13.0%	5	33.3%	54	10.4%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問18 転出等による社会減への対策を行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。（3つまでに○）

＜「移住者、Uターン者の増加」に向けた支援が最も高い＞

転出等による社会減への対策として力を入れるべき取り組みについてたずねたところ、「移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」が55.3%で最も高くなり、次いで、「若者による地域の魅力づくりの支援」が41.4%、「起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備」が40.5%となっています。



- 社会減への対策として力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、60歳代以上では、「移住者、Uターン者の増加」に向けた支援に次いで、「若者による地域の魅力づくりの支援」が44.6%、「ふるさとへの誇りと愛着の醸成等により出身者のUターンを目指す取り組み」が43.4%となっています。

■年代別にみた地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取り組み

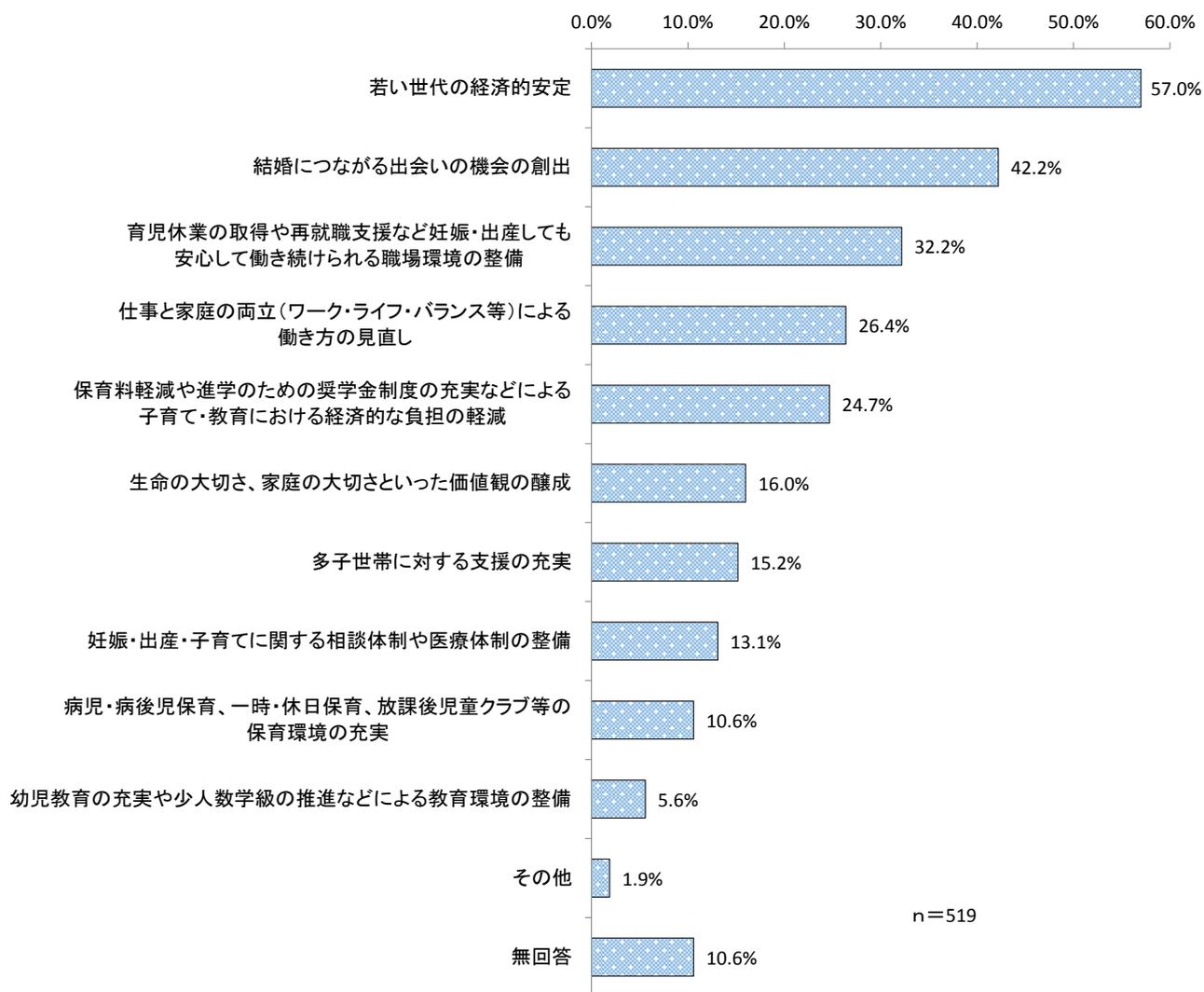
	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実	23	60.5%	99	66.0%	160	50.6%	5	33.3%	287	55.3%
正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ解消	19	50.0%	56	37.3%	78	24.7%	3	20.0%	156	30.1%
起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	16	42.1%	57	38.0%	131	41.5%	6	40.0%	210	40.5%
若者による地域の魅力づくりの支援	15	39.5%	56	37.3%	141	44.6%	3	20.0%	215	41.4%
道路等や下水道など生活環境の整備や公共交通機関の充実	8	21.1%	25	16.7%	51	16.1%	2	13.3%	86	16.6%
ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり	15	39.5%	35	23.3%	59	18.7%	2	13.3%	111	21.4%
ふるさとへの誇りと愛着の醸成等により出身者のUターンを目指す取り組み	6	15.8%	40	26.7%	137	43.4%	5	33.3%	188	36.2%
その他	3	7.9%	4	2.7%	7	2.2%	1	6.7%	15	2.9%
無回答	1	2.6%	8	5.3%	37	11.7%	5	33.3%	51	9.8%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問19 結婚・出産・子育ての希望をかなえ少子化に歯止めをかけるため、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。（3つまでに○）

<「若い世代の経済的安定」が最も高い>

結婚・出産・子育ての希望をかなえ少子化に歯止めをかけるために力を入れるべき取り組みについては、「若い世代の経済的安定」が57.0%で最も高くなり、次いで、「結婚につながる出会いの機会の創出」が42.2%、「育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」が32.2%となっています。

問19 結婚・出産・子育て支援で力を入れるべき取り組み



- 結婚・出産・子育ての希望をかなえ少子化に歯止めをかけるために力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、30歳代以下では、「若い世代の経済的安定」に次いで、「仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス等）による働き方の見直し」が44.6%で高くなっています。

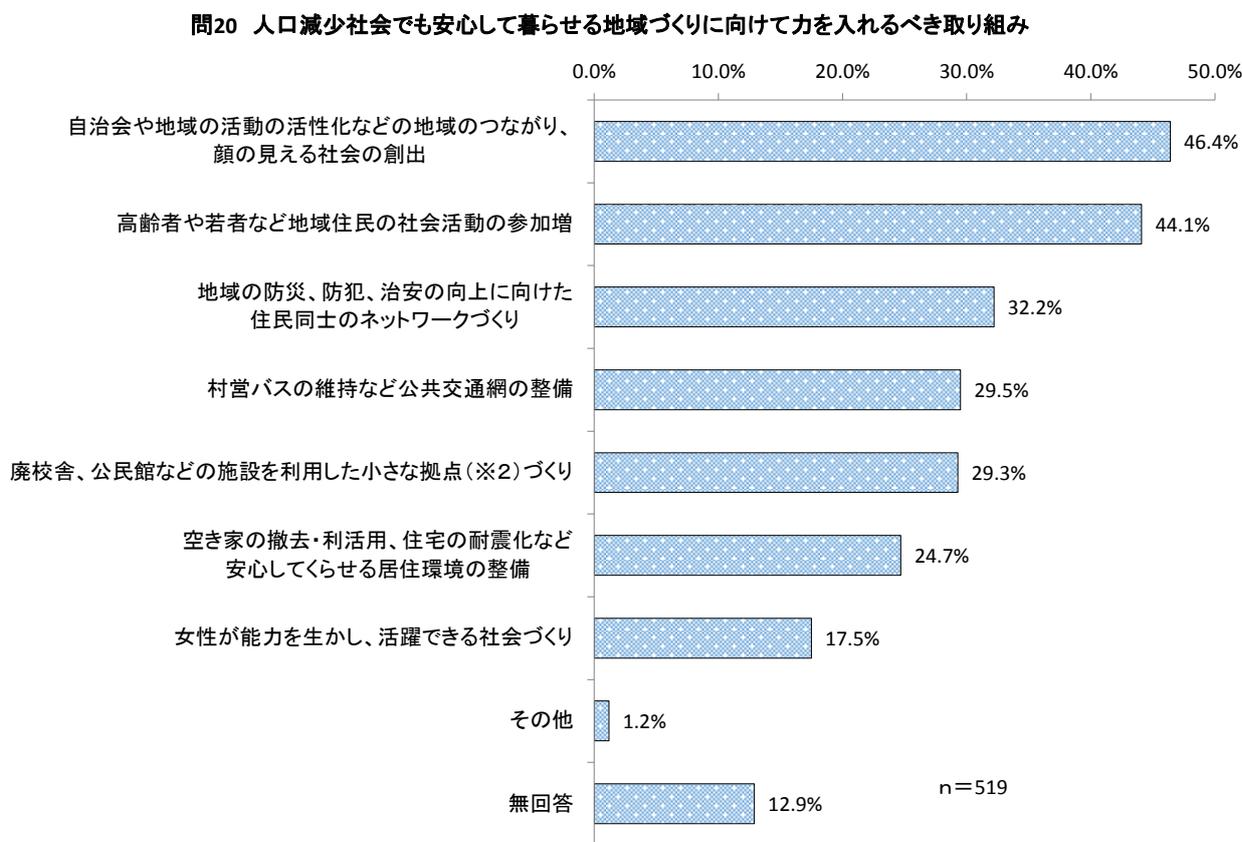
■年代別にみた地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取り組み

	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
結婚につながる出会いの機会の創出	9	23.7%	57	38.0%	148	46.8%	5	33.3%	219	42.2%
若い世代の経済的安定	32	84.2%	91	60.7%	165	52.2%	8	53.3%	296	57.0%
仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス等）による働き方の見直し	18	47.4%	39	26.0%	79	25.0%	1	6.7%	137	26.4%
育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備	16	42.1%	51	34.0%	96	30.4%	4	26.7%	167	32.2%
妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	4	10.5%	17	11.3%	45	14.2%	2	13.3%	68	13.1%
保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減	9	23.7%	47	31.3%	69	21.8%	3	20.0%	128	24.7%
多子世帯に対する支援の充実	5	13.2%	17	11.3%	54	17.1%	3	20.0%	79	15.2%
幼児教育の充実や少人数学級の推進などによる教育環境の整備	6	15.8%	8	5.3%	14	4.4%	1	6.7%	29	5.6%
病児・病後児保育、一時・休日保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	9	23.7%	20	13.3%	25	7.9%	1	6.7%	55	10.6%
生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成	7	18.4%	22	14.7%	51	16.1%	3	20.0%	83	16.0%
その他	2	5.3%	4	2.7%	3	0.9%	1	6.7%	10	1.9%
無回答	0	0.0%	10	6.7%	41	13.0%	4	26.7%	55	10.6%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問20 人口減少社会の中でも安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力をいれるべきと考えますか。（3つまでに○）

＜「自治会や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出」が最も高い＞

人口減少社会でも安心して暮らせる地域づくりに向けて力をいれるべき取り組みについてたずねたところ、「自治会や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出」が46.4%で最も高くなり、次いで、「高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増」が44.1%、「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」が32.2%となっています。



※2 小さな拠点：小学校区など複数の集落が集まる地域において、日常生活に不可欠な施設や地域活動を行う場を集約し（小さな拠点）、各集落をコミュニティバスなどで結ぶことで持続可能な集落地域づくりを目指す取り組み。

- 人口減少社会でも安心して暮らせる地域づくりに向けて力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、30歳代以下では、「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」が55.3%で最も高くなっています。

■年代別にみた 人口減少社会でも安心して暮らせる地域づくりに向けて力を入れるべき取り組み

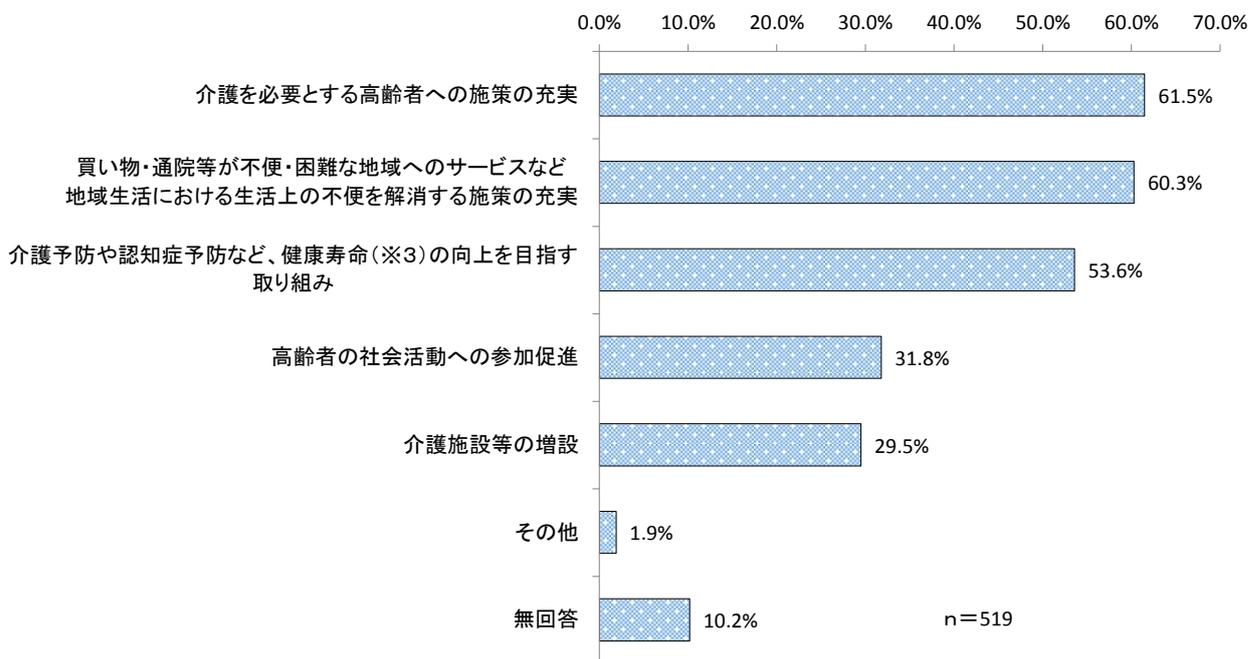
	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自治会や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	15	39.5%	67	44.7%	153	48.4%	6	40.0%	241	46.4%
高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増	18	47.4%	62	41.3%	144	45.6%	5	33.3%	229	44.1%
地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	21	55.3%	45	30.0%	95	30.1%	6	40.0%	167	32.2%
女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり	8	21.1%	26	17.3%	54	17.1%	3	20.0%	91	17.5%
廃校舎、公民館などの施設を利用した小さな拠点(※2)づくり	12	31.6%	41	27.3%	98	31.0%	1	6.7%	152	29.3%
空き家の撤去・利活用、住宅の耐震化など安心してくらする居住環境の整備	17	44.7%	44	29.3%	60	19.0%	7	46.7%	128	24.7%
村営バスの維持など公共交通網の整備	10	26.3%	42	28.0%	98	31.0%	3	20.0%	153	29.5%
その他	1	2.6%	3	2.0%	2	0.6%	0	0.0%	6	1.2%
無回答	1	2.6%	14	9.3%	48	15.2%	4	26.7%	67	12.9%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問 2 1 高齢者への施策の充実等による安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。（3つまでに○）

<「介護を必要とする高齢者への施策の充実」が高い>

高齢者施策の充実等による安心して暮らせる地域づくりに向けて力を入れるべき取り組みについては、「介護を必要とする高齢者への施策の充実」が 61.5%で最も高くなり、次いで、「買い物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」が 60.3%、「介護予防や認知症予防など、健康寿命（※3）の向上を目指す取り組み」が 53.6%となっています。

問21 高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向けて力を入れるべき取り組み



※3 健康寿命：日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。

- 高齢者施策で力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、30歳代以下と40～50歳代では、「買い物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」が、それぞれ73.7%、64.0%で最も高くなっています。

■年代別にみた 高齢者施策で力を入れるべき取り組み

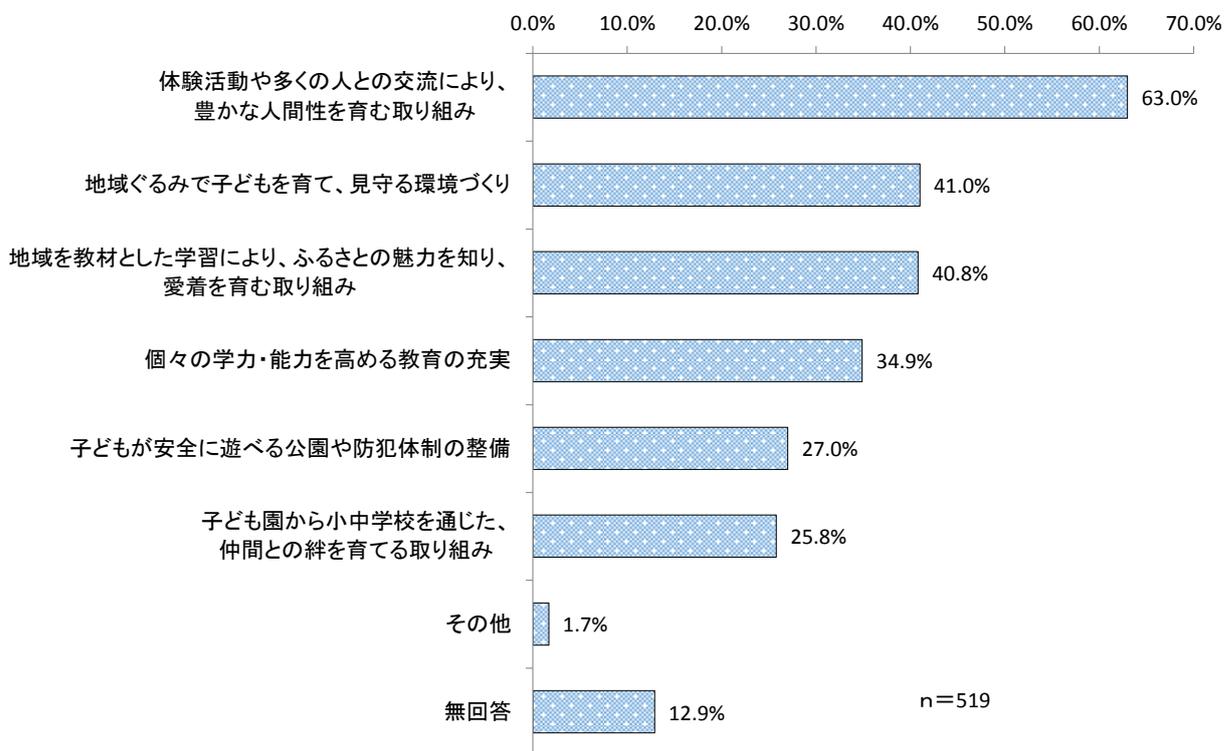
	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護予防や認知症予防など、健康寿命(※3)の向上を目指す取り組み	19	50.0%	68	45.3%	186	58.9%	5	33.3%	278	53.6%
高齢者の社会活動への参加促進	15	39.5%	41	27.3%	105	33.2%	4	26.7%	165	31.8%
買い物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実	28	73.7%	96	64.0%	180	57.0%	9	60.0%	313	60.3%
介護を必要とする高齢者への施策の充実	25	65.8%	94	62.7%	193	61.1%	7	46.7%	319	61.5%
介護施設等の増設	13	34.2%	53	35.3%	84	26.6%	3	20.0%	153	29.5%
その他	4	10.5%	1	0.7%	4	1.3%	1	6.7%	10	1.9%
無回答	0	0.0%	14	9.3%	35	11.1%	4	26.7%	53	10.2%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問22 地域を担い、ふるさとを慕う子どもの育成に関する取り組みを行う際に、どのようなことに力を入れるべきと考えますか。（3つまでに○）

＜「体験活動や多くの人との交流により、豊かな人間性を育む取り組み」が高い＞

地域を担い、ふるさとを慕う子どもの育成に向けて力を入れるべき取り組みについてたずねたところ、「体験活動や多くの人との交流により、豊かな人間性を育む取り組み」が63.0%で最も高くなり、次いで、「地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくり」が41.0%、「地域を教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み」が40.8%となっています。

問22 地域を担う子どもの育成に向けて力を入れるべき取り組み



- 地域を担い、ふるさとを慕う子どもの育成に向けて力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、各年代とも、「体験活動や多くの人との交流により、豊かな人間性を育む取り組み」が最も高くなっていますが、次いで、30歳代以下は「子どもが安全に遊べる公園や防犯体制の整備」が、40～50歳代は「地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくり」が、「買い物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」が、60歳代以上では「地域を教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み」が、それぞれ高くなっています。

■年代別にみた地域を担い、ふるさとを慕う子どもの育成に向けて力を入れるべき取り組み

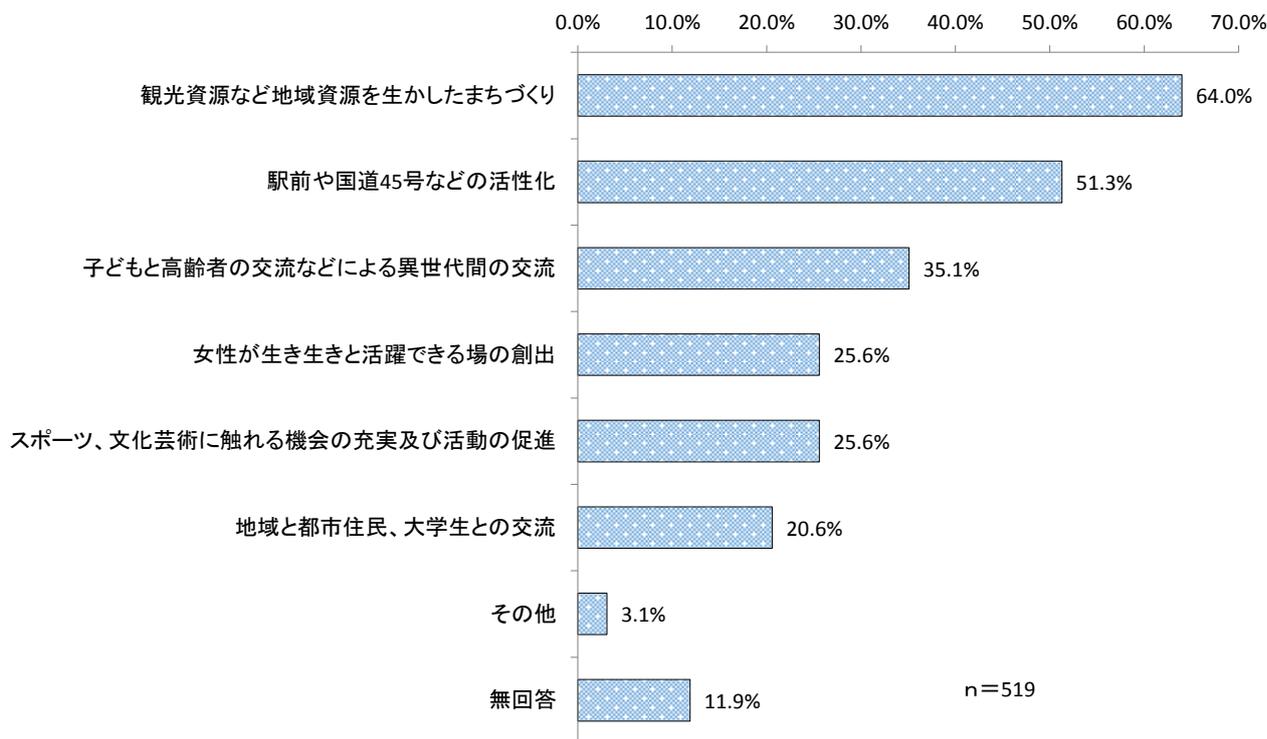
	■年齢区分								合 計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
個々の学力・能力を高める教育の充実	15	39.5%	55	36.7%	105	33.2%	6	40.0%	181	34.9%
体験活動や多くの人との交流により、豊かな人間性を育む取り組み	22	57.9%	95	63.3%	202	63.9%	8	53.3%	327	63.0%
地域を教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み	17	44.7%	58	38.7%	133	42.1%	4	26.7%	212	40.8%
子ども園から小中学校を通じた、仲間との絆を育てる取り組み	9	23.7%	34	22.7%	85	26.9%	6	40.0%	134	25.8%
地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくり	15	39.5%	68	45.3%	127	40.2%	3	20.0%	213	41.0%
子どもが安全に遊べる公園や防犯体制の整備	19	50.0%	39	26.0%	80	25.3%	2	13.3%	140	27.0%
その他	3	7.9%	1	0.7%	5	1.6%	0	0.0%	9	1.7%
無回答	0	0.0%	16	10.7%	46	14.6%	5	33.3%	67	12.9%
合 計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

問23 地域の活性化、にぎわいの創出を目指した取り組みを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。（3つまでに○）

くにぎわいの創出には「観光資源など地域資源を生かしたまちづくり」が高い

地域の活性化やにぎわいの創出に向けて力を入れるべき取り組みについてたずねたところ、「観光資源など地域資源を生かしたまちづくり」が64.0%で最も高くなり、次いで、「駅前や国道45号などの活性化」が51.3%、「子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流」が35.1%となっています。

問23 地域の活性化やにぎわいの創出に向けて力を入れるべき取り組み



- 地域の活性化やにぎわいの創出に向けて力を入れるべき取り組みについて年代別にみると、各年代とも、「観光資源など地域資源を生かしたまちづくり」が最も高く、次いで、「駅前や国道45号などの活性化」が、それぞれ高くなっています。

■年代別にみた 地域の活性化やにぎわいの創出に向けて力を入れるべき取り組み

	■年齢区分								合計	
	30歳代以下		40～50歳代		60歳代以上		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
駅前や国道45号などの活性化	24	63.2%	91	60.7%	144	45.6%	7	46.7%	266	51.3%
観光資源など地域資源を生かしたまちづくり	26	68.4%	104	69.3%	193	61.1%	9	60.0%	332	64.0%
子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流	16	42.1%	43	28.7%	120	38.0%	3	20.0%	182	35.1%
地域と都市住民、大学生との交流	10	26.3%	27	18.0%	68	21.5%	2	13.3%	107	20.6%
女性が生き生きと活躍できる場の創出	9	23.7%	36	24.0%	83	26.3%	5	33.3%	133	25.6%
スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進	16	42.1%	35	23.3%	79	25.0%	3	20.0%	133	25.6%
その他	2	5.3%	8	5.3%	4	1.3%	2	13.3%	16	3.1%
無回答	0	0.0%	9	6.0%	49	15.5%	4	26.7%	62	11.9%
合計	38	100.0%	150	100.0%	316	100.0%	15	100.0%	519	100.0%

Ⅲ 自由意見

普代村のまちづくりについて、意見や提案などご自由に記述をいただいた「自由意見」については、85件の意見が寄せられました。

これらの意見について、「産業の振興」、「保健・医療・福祉」、「教育・文化」、「生活環境・都市基盤」、「まちづくり・行財政」、「人口減少対策」、「アンケートについて」、「その他」の分野に分類し、分野ごとに掲載しました。

なお、1人の回答者から複数以上の分野について記述されている自由意見も多くなっていますが、その場合は、原則として冒頭に記載されている事柄をもとに分類を行っています。

<産業の振興> 25 件

- 村内インフラの十分な維持管理ができている状況で、これ以上の拡張を望むべきではない。確実な保全に取り組み、将来負担の適正化を図るべき。地方から出向いて、都会や海外に売り込んでも、魅力は伝わらない、いかにして来村してもらうか、真検に考え、足を運んでもらっても恥かしくない生産体制、産品を用意した上で、売り込みを行うべき。集落営農の取り組みや、起業の取り組みをサポートすべき。教育環境の充実と、医療体制の充実は必須。【30歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- いつ何時訪れるかわからない団体・個人の旅行者に気持ちよく普代駅を利用してもらうために、まずはトイレから。芳香剤を置くとか、こまめに掃除するとか。大事ですよ、トイレは。また、駅に人がいないときに、個人の旅行者などは、どこで〇〇食べられるか、どこに聞けばいいのかわからなく困っていたり、ということもあるので、情報をわかりやすく張り出すなどして提供したり、必ず駅に1人は常にいるようにしないと（実際利用した人から聞いた話です。レンタサイクルの案内と役場への行き方なども大事です）。大きなことに目を向け考えていると、小さな事はおろそかになりがち。普代が誇れるものはコンブだけではないはず。地元でとれる野菜&魚、めかぶ、わかめなどを活かして何か、新しい地元食の考案、試食会を何かの機会に開いて、その後、各食堂で提供する、あるいは作るのを体験するツアーへと展開していくなどできないか。【40歳代、女性、職業（その他）】
- もし、鉄山染に虫除け（蚊？）効果があるなら、夏場に使えるような商品もいいんじゃないですか？ ジンベエとか、ロールカーテン、タオルとか、扇子など 役場と漁協はもっと真剣に力を合わせて下さい。なんでサル山の縄張り争いみたいに仲が悪いの？三陸道が開通したら、出入口手前にアンテナショップの広告看板があればいいと思う。（三陸道から見える位置）じゃないと素通りされると思う。【40歳代、男性、職業（その他）】
- 仕事があり、将来にわたり子ども達とともに生活して行ける故郷を。村民一人ひとり

が、思いやり、互助の気持ちを持ち、人として幸せに生きていければ何も不満はないのですが。それが一番難しいのでしょうか。【50歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】

- 漁業、農業の他、商店街へのテコ入れが必要。道路も含めた村全体のデザインを考えていかないと商店主のヤル気がなくなる。復興道路を村のプラスにしていく対策を願う。【50歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 漁業の村・普代。「定置網は、所得格差」——それは納得。「養殖業は、若布、昆布は沖にある物を、とってくるだけ。3月～4月～実質20日前後、それで、半年～1年の生活費をまかなう計画」——それが単価の低迷で、思うようにいかない現実。父親の後を継いで、漁師になり、震災後も再建はしたものの何も変わらない現実。とても、息子に跡継ぎを頼めない。毎年、若布、昆布の単価を高くとは、思っていない。平均的な安定した単価であればと思う。すこしでも、漁師の声が、村・漁協に届くことを期待して、漁業が衰退しないことを願い、よろしくお願ひします。【50歳代、男性、水産業】
- 普代駅かインター付近又は普代浜にホテル（宿泊施設）がほしい。魅力の無い村に人口が減るのも当然である。だからやる気もないから選挙もない。出来ることからコツコツやろうぜ～!! 高速につながる道路がないから企業誘致してもまずムリ。そしたら海に広げたら（？） せっかくいい漁港あるのに利用しない手はない。外来船を誘致して荷揚げさせては（？） かなりの雇用も見込めるし村の経済効果もあり（10億位）。まついそ公園もったいない。前に橋をかけて駐車場を向い側に作れば客見込める。考えればいっぱいあるなあ～【50歳代、男性、職業（その他）】
- 仕事をして収入を得て税金を払う。まだまだ働ける人が毎日、草刈りばかりしているのを見ていると、雇用を拡大してもっともっと村のために働いてもらったらと思います。【50歳代、男性、製造業・建設業】
- 漁業への「力」を入れる取り組みは、この普代は厳しいと思います。八戸から南下して来た時、海はキレイと言われるが、素通りして行くと盛岡の友人達が話します。他市町村に選べて利便性に欠ける事。食事できる場所も少ない。何に、力を入れるか…野田、田野畑、葛巻等から学び、普代だけの魅力ある普代にしてほしい。このアンケートも本当に活用してほしい。【50歳代、女性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 村の中の職場で働く若い方の声を聞くと、給料が安いので、結婚できない、家庭がもてないという声があります。若い人を村に定住させるためにはその部分を考えていかなければならないと思う。【50歳代、女性、商業・サービス業（公務員含む）】
- コンビニ経営をしたいと思います。働く人々も確保しますので補助金等、ご協力願ひたいのですが…【50歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 季節毎の普代といえばコレ！ というような商品開発。たとえば春はワカメを取り扱ったもの野菜や山菜、きのこ、鮭 お土産に出来るようなものを作る。【50歳代、女性、

専業主婦】

- 漁村である (?) 普代では、野田村のほたてや田野畑の牛乳のように一次産業の生産物に新しい試み、付加価値を加えていけないだろうか？【50 歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 一番の要望は若い世代からある年齢の人までが働ける場があると最高です。観光客を呼べる何かがあるとたくさんの人も来てくれると思う。道の駅も必要ではないか…？【50 歳代、男性、水産業】
- 60 代、70 代、80 代の議員たちで本当に村のことを決められるのか、若者たちの意見を尊重した方が良い。漁業も組合長だけでなく、定置網や漁船漁業の代表を集めて意見をきいた方が良くと思う。議員ももっと勉強して漁業にも色々な種類があるので、コンブだけでなく、他のものもあるということを知ってほしい。【50 歳代、男性、水産業】
- 平成 28 年度の目標：新港ドックの有効活用と稼動回転率アップを図る。船のリフォームは、儲かるかも。【60 歳代、男性、無職】
- 高速道路が出来てから、普代（45 号）を素通り…。素通りされない様に、寄ってもらえる様な、地場産に力を入れ、安く買える…売れる物（品）お土産にと思って入店しても高く買えず、つい久慈方面に向う…。観光でも（自然資源）生かして…。PR する。例えば、普代の若布、昆布使用した、美味しい、外に劣らないと宣伝する。「足止めさせる様に」（車も少ない、人も歩いてない、寂しい普代本村デス。）【60 歳代、女性、無職】
- 堀内駅は、「あまちゃん」でも、袖ヶ浜駅として登場し、印象に強く残っているシーンもあることから、時おり観光客も見受けられる。45 号線（上下線）に、走行中でも視認しやすい案内板と、駐停車場所（屯所の近辺）を表示してあげてはどうか。村尾商店さんも、のぼり旗をたてる等していただければ、堀内駅近辺への観光客の立ち寄り、同商店での買物と期待できるものと考えて。役場内には、観光振興課はないのでしょうか。【60 歳代、男性、製造業・建設業】
- 村には海、山あり、宿あり、神楽あり。春、夏、秋、冬と体験ツアーなど取り入れて外からの客寄せ出来るかも。【60 歳代、女性、無職】
- 人口減少と高齢者が多くなると、経済、特に収入がなく商店会の経営が難しくなり、後継ぎの問題が出て来るのではないのでしょうか。それと人と出会う場所（就職する所）が無く、普代の人以外と結婚が自然ですから、まず就職場所、給料が高いこと、を考えて見る事です。75 歳以上の固定資産税の見直し、国保、年金者には増々見えないで物価が少しずつ上って来ています。サア高齢者はどこへ行くべきか、大変な時代になりました。【70 歳代、男性、無職】
- 農、森、水産業を前面に出した観光をしたい人が出入りすれば（観光）住民は増えると思うし、良い所が見えると。【70 歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】

- 西和賀、葛巻を学びたいです。【70 歳代、女性、農林業】
- ①普代村はもともと自然豊かな町、漁業を中心に栄えてほしいが、海の観光遊び場は全く不足し、海・浜を意識させる、海・浜の解放日は作れないだろうか。日常的に岩場で遊ぶ環境は難しいのですか。 ②林業を生かした産業を作ってほしい。時間や年数はかかるだろうが、植林を中心にして樹を育て、それを産業にしてほしい。 ③普代村単独での企業誘致ではなく、近隣の町村と共同して、事業に取り組んでいけないものでしょうか。 ④普代村に産業廃棄物や核燃料の廃棄を受け入れてはならない。村の財政が困ったからとしても受け入れないこと。 ⑤村のイベント、行事企画は他村の真似ではなく、普代村が考えた行事等の実施を願っています。【70 歳代、女性、無職】
- 各商店で月に 1 回でも第何曜日はサービス店としてたとえば何千円以上お買上げの方に砂糖 1 袋とか、何割引とか、ポイント何倍とか、お客様が喜んで楽しんで買い物が出来るようなサービスなどあったら久慈方面に行って買物をするのを控えて地元で金が落ちるとも思います。【70 歳代、女性、専業主婦】
- コンブじゃなく、違う分野に力をいれてほしい。道路の整備、街灯をふやしてほしい。クマ対策、駆除してほしい。あぶないから、ケガしてからではおそいですよ。【年齢無回答、性別無回答、職業無回答】

<保健・医療・福祉> 8 件

- 若い女性の方が 1 人でも多く住み、1 人でも多く結婚出来る村である事を望みます。【60 歳代、男性、製造業・建設業】
- 独身者が男女ともいないよう、婚活を進められるようお世話係が必要では！ なるべく村外へ出ないようみんなで止めるようにしたら？ 地産地消的な取り組みをもっと勧めてみたらどうか？【60 歳代、男性、職業（その他）】
- 例：老人の方の用事、買物、病院、足のない方へのサービスでタクシーを 1 回 300 円程度で使用できる村もある様です。若い人達の仕事場が不足。賃家の不足、村にいても住む家がない事。【60 歳代、女性、専業主婦】
- 普代村で就労の場を確保する事は難しいかもしれませんがこれだけ道路が整備されている今、ベッドタウン的発想で子育て世代の方々に住んでほしいものかと思えます。孫がいなくて詳しい事は分かりませんが、広報等を見ても子育て環境はとても充実しているように思うのですが、やはり便利な街へ行ってしまふのかな。昔は、子が親・家を見るという事が当たり前でした。勿論そこには半強制的な事も多々あったかもしれませんが、出来る事なら、誰もが当然のように家を、家族を最後まで見取るという心を持ってくれたら、と節に願います。今心から思います。子育て・教育はとても大事な事ですね。【60 歳代、女性、無職】

- 知的障害、精神的障害者児等（うつ、ひきこもり etc 含め）が増加しているように思う。その福祉対策も大切かも？【70 歳代、男性、無職】
- 私は、77 歳の一人者世帯です。去年 3 月まで、ばあちゃん（99 歳）も、長らく、施設にお世話になりました。ありがとうございました。保健、医療、福祉等の皆様、迷惑をかけると思いますが、どうぞ、よろしくお願い致します。施策、充実による、安心して暮らせるまち、普代村を祈念してやみません。【70 歳代、女性、無職】
- 命と心を最も大切にする取り組み実行希望します。【70 歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 車のない人のために、イベントとか行事がある時に車を出してもらえれば、参加しやすいと思います。【70 歳代、女性、農林業】

<教育・文化> 2 件

- 久慈市と合併した方がいいと思う。だんだんに子どもも少なくなり、スポ少等もやらない子が多くてスポ少を伸ばしたくても、入る子どもがいない。女の子で入った子がいる。意外と女の子の方が才能あります。子どもの遊び場が少なくなり外で遊べない子がいる。家でこもりっきりはかわいそうだと思います。【50 歳代、女性、職業（その他）】
- 職員の教育、育成は勿論だが、職務を全うすべき 一、体育振興、道路パトロール、挨拶はだいぶ良くなったと思える。 一、国体もあるのに施設等々、組織がしっかりしていないと思われる。特に野球協会、審判等々、充実 中身？ 一、片寄った村政はいけない 特に本当の議員の活動！【60 歳代、男性、無職】

<生活環境・都市基盤> 9 件

- 一番の資源は“人”であると考えます。普代駅より 45 号線へのアクセスする橋等…新鮮さを求め、さらに変化させる流行性を訴えるものであります。【50 歳代、男性、製造業・建設業】
- 防犯設備をしっかりやってほしい 重要設備等への監視カメラの設置（この前駅のトイレに財布を忘れ置き引きに合ったが監視カメラがないため重要な情報得られず）【50 歳代、男性、水産業】
- 公民館はあっても公民館の外に小さいながら公園、ベンチがあると、いつでも子どもでもお年寄りでもベンチに遊びに行き座れるし、動く器具があるといいと思うけど、中国の公園みたいに？ 地区にそんな所があればいいと思います。公民館の利用はそんなに何かの時でなければなんとなく難しいでしょう。あっさり行けるボケ防止かな？【60 歳代、女性、専業主婦】

- 国道 45 号線の駅、こんな景色の良い所に車を停めるところがなくとても残念に思う。1日も早く実行を考えたらと思う。【60 歳代、男性、製造業・建設業】
- ①ゴミ収集は週一回では、家庭での衛生面でいいとは思わない。②24 時間営業出来る店があれば大へん便利で夜中に使用なものをほしい時とか、色々な面でも野田村のコンビニ迄に行くのは不便です。ましてや高齢者は不便だったりもします。車の免許を持ってない人でも遅くまで店を営業していると私達住民は大変便利で助かります。【60 歳代、女性、専業主婦】
- どこの家でも一家の中心とする所は、家族であり、家があって、その中に親がいて兄弟がいて、そこで、寝て、起きて、一日の生活が、はじまります。普代村も、村民の拠り所とする村役場があって、そこから普代村の一日も、はじまるものと思います。そう考えると、やはり普代村の中心は役場であり、駅前が中心と考えるべきだと思います。ここに村民はもとより、すべての人が通り、出入り出来る場所として、駅前を開発すべきと考えます。普代のあらゆる物を駅前に集め、皆が自由に、出入りするような所を造りたいです。【70 歳代、男性、無職】
- 東日本大震災後 4 年が過ぎるが、復興に当り個々の行政の枠の中で復興に取り組んでいるが、行政の枠をはずし広域の中での将来像を描き、復興に取り組む必要があったと思う。その事によって新しい地域が出来たのではないか。例として、安全な場所への住宅団地の形成。それによつての復興道路の整（理）備、公共的な施設の整備も変わって来るはず。それによつて、国、県、行政の財政上の関係も軽減できたと思う。今の行政は財源の奪い合いで何も、将来展望がみえない。特に原発被害地域は考えるべきと思う。【70 歳代、男性、農林業】
- 駅前の 45 号、ゴミ置き場、駅 45 号線沿いの道路に車を停めるのに大変困っています。【70 歳代、性別無回答、無職】
- 良い村作ろう 鎌倉幕府!! このままの、普代村ではダメだ!! もっと生活しやすい村にしろ!! 【年齢無回答、性別無回答、水産業】

<まちづくり・行財政> 19 件

- 近所、親せき付き合いは濃いのが、自治会への理解など個人経営者が多いため薄い気がする。村民全員でやるぞ!! という意識付けと目標が必要なのでは? 【30 歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 幅広く意見を聴くことができるような工夫をすべき。若年層、他地域からの転入者、子育て中の女性等、それぞれが集まって話し合える場を作るなどして（気軽に集まれるような場を設定して）広く意見を聴き、現状把握、課題を把握した上で、どんな村になりたいのか、ビジョンを示して欲しい。【30 歳代、女性、商業・サービス業（公務員含む）】

- 子どもも大人も住みやすく、人にやさしい村で。自然も豊かな普代を忘れないで。【40歳代、女性、水産業】
- 地域活性化の「地域」とは何のこと？誰のこと？（教育委員会 子ども園 学校 教職員 保育士）（家庭 幼児・児童・生徒 P T A 保護者）（地域コミュニティー 商店街、漁師、消防団、まつり、三鉄ふだい駅、くろさき荘、大工、老人クラブ 農家、鶉鳥神社、神楽 商工会 漁協 農協 はまゆりスポーツ スポ少 飲食店 うねとり荘 観光協会 昆布大使 荒磯太鼓 観光大使 銀次会 てぼかい合唱団）（県外）（県内）（行政 福祉）（高齢者）今まさに普代村の力が問われています。地域コミュニティーの現場から、普代を、岩手を、日本をつくり直すという気概を持って臨んでいかなければなりません。【40歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- できれば、もっと、村民が集まれるような事を考えて欲しいです。（集まりやすくなれるように。）【40歳代、女性、専業主婦】
- 言葉やアンケートなどではうまく表現できませんが、こんな小さな村なのに、格差も感じます。大きな問題に取りくむ前に、もっと一人ひとりの置かれている状況や悩みなどに心思に耳を傾けてからまちづくりを考えてほしいです。【50歳代、男性、職業（その他）】
- 普代村でもいろんなことをして（取り組んで）大変だとは思いますが、普代に住んでいる人も多く参加できるように（外からもたくさん集ってくるような）ことがあればいいんですけど…何となく参加できないような（できづらいような）ことがあります。村の人も…外の方たちも参加できることがあればいいですね。余所でやっていることでも“マネ”してみたり、…やってみて“ダメ”だったらそれはそれでまた考えてみたりとかしてみても…（やっではいることでしょうか…）いいのではないのでしょうか？！何かじょうずに伝えられていませんでした。※いつもご苦労様です。【50歳代、女性、職業（その他）】
- 人と人のつながり、絆を大切に作る取り組みを充実してほしいです。将来どんなまちにするか、したいかは、村民1人1人のつながりを大切にしていける事が、普代村をよくする事につながっていくと思います。普代のこれまでの歴史を知りながら、これから将来の人にバトンを渡していくか、真剣にみんなで考える事が一番大切ではないでしょうか。そこから、良い意見を出すきっかけにしたいと思います。【50歳代、男性、水産業】
- 全体的に普代の方は少しおとなしいと思います。たとえば、県の研修会等に参加したときに他市町村の人達は大いに質問をしたり、交流をしたりしていますが、普代の方はあまりしないように見受けられます。もっと、他の人と交流をして、良いことを学び、村の活性化につなげたらいいと思います。【60歳代、男性、無職】
- ①問8において、健全な産業の振興及び行財政運営が重要であることは理解できるが、実態を認識できる資料がないと現状分析は出来ません。 ②女性の社会参画（雇用の

場の確保)は大切だと思います。③人口減少が続くと町村合併は避けられないことになると思いますのでこの分析、検討も必要になると思います。【60歳代、男性、無職】

- 一村民として、平等な扱いをして欲しいです。たとえば普代村で発行している広報です。同じ様な人とか、役場上がりとか、特定の人とかを何回も取り上げていますよね。もっと視野を広めて欲しいですね。それで村民が一体となると思います。何かといえは役場退職者とか議員とか特別の人ばかり重視するのは本当にやめて下さい。それは村づくりでも町づくりでも決していい事ではないです。どうか広い意味で広報も担当して下さい。それも仕事なのでですから。いつも私は感じています、日常で…。【60歳代、女性、専業主婦】
- 皆で協力し合い頑張っていく事が良いと思います。【60歳代、男性、水産業】
- これらのいい問題が沢山あっても一度に実行されることは無理。出来るものから取り組んで欲しいです。よろしくお願い致します。高齢のため何にもご協力も出来ません。気持だけは…心算です。【70歳代、男性、無職】
- まちづくりについては特効薬的な施策はなかなか見つからない。その前に本村における負の部分の認識し、その反省のうえで、施策(方向性)を見当すべきである。例えば村民として、他市町村の例を見たとき、恥かしい部分が多くある。しかも、反省や、改善のための取り組みが見られない。例、飲酒運転のワーストがマンネリ化している。その原因についての検討、施策などないのはあきれてしまう。放置文化の負の見本である。しかも他市町村の生命まで奪うとは、本村に対しての村民感情も知らずあきれ果てる。反省なくして、まちづくりはあり得ない。施策→短期的な(夏休み・冬休み)農山村漁村留学を開設出来たら良い。いじめ、非行防止と、心の教育が出来る。【70歳代、男性、無職】
- 現状施策も大事だが、長期展望に立った、施策の10年~15年先を見据えて、着々と、進めるのが肝心。【70歳代、男性、無職】
- この村に在るモノ、この村にしかナイものを地味ですけど、再考してみたらー。【70歳代、男性、水産業】
- 大人も子どもも、職務に上下があっても、道でもどこでも、会ったら声を掛け合える人間のたくさん居るまちづくり。【70歳代、男性、職業(その他)】
- 天下り職員は定年から5、6年たってから内容によりボランティア的にやってもらった方が良い。【年齢無回答、男性、無職】
- 国道45号線沿いで、海を眼下に見おろせる三鉄堀内駅周辺の地域振興を意図的に回避しているように見えて仕方がありません。常陸宮殿下がわざわざ堀内駅を見学し、村長が説明役をされたことは記憶に新しいことですが、その記念碑さえ建立される気運がないことは誠にはずかしい限りです。種差海岸には同殿下夫妻で見学の碑があるのと、対照的なことです。普代水門の“碑”を建立する気運を堀内駅の上記のことにもつなげて欲しいです。【60歳代、男性、商業・サービス業(公務員含む)】

<人口減少対策> 13 件

- 他の市町村（内陸含め）を見ると、活性化しているところは企業誘致を積極的に行って、労働者の人口を増やすことと、住居環境の整備を行っている。その両方をバランスよく行うことが人口を増やすポイントかと思う。娯楽施設などは正直、人が増えれば後からついて来るものなので、税金や、福祉などで、経済的に、村に住む利点をアピールできれば若い人が増えると思う。元から村に住んでいる人にとっても、経済的な面での利点が増えれば、生活に余裕ができ、精神的に安定し、地域の活性化の土台になると思う。【30 歳代、女性、職業（その他）】
- 新規起業者への補助を行うなどし、新たな産業などの創出。【30 歳代、男性、職業（その他）】
- 普代は、人口が減り続けて大変きびしい状況だと思います。若者が遠くへ出稼ぎに行かなくても地元の特産物を使用して仕事をする様な機会を作ったり、はまゆりこども園と普代小で地区の老人とふれ合う機会を作ったりすると良いと思います。【30 歳代、女性、職業（その他）】
- 「就労の場を確保する」「村営住宅ではなく、土地を造成して村民に買ってもらう」「第3子からの子育て・教育のための経済支援」「結婚しない人の増税・結婚している人の減税」「せっかく道路が良くなるから、普代から通勤・通学してもらうこと」 ※人口減少問題に一番に力を注いでほしい。【40 歳代、男性、製造業・建設業】
- 上に立つ人が、住民のある事ない事、来たお客さんに言いふらしていいのか!! こんな人だらけだからよけい人口は減少する一方だと思います。あとは、働らく場所が少ない。【50 歳代、女性、専業主婦】
- 自然がありあまっている普代なので、これを利用しない手はない。定置網の綱おしやカブトムシ取り。キノコ取り等内外に宣伝し集客に努めるべきである。そうすれば、人の心に普代と言う名が残る。人伝てに良かったよと言ってもらえば、人が集まるでしょう。【50 歳代、男性、職業（その他）】
- 中高年の独身の人が多いので、男女の出会いを村で、何とか、そういう機会をつくってほしい。【50 歳代、男性、製造業・建設業】
- 地域創生、地域活性化につながるような計画の策定をお願いします。村政運営には職員力がなくては始まらないと思います。アンケート調査も大変だと思われませんが、皆さんの努力に限りますので普代村を消さないようによろしくお願い致します。【60 歳代、男性、無職】
- 親は金をかけて教育を受けさせても結局出してやると帰って来ません 相当アイデアを出して魅力のある普代村を作らないとなかなかある程度の教育を受けた子どもたちは帰ってこないと思います。現に今、田野畑あたりはいろんな事を頑張っているのに

は感心します。とにかく若いアイデアマンを養成しないと若者は帰ってこない。独り者の50歳位の男性も沢山いるのでこれを何とかするのが大事だと思います。【60歳代、女性、無職】

- 若者を逃がさない温かな“まちづくり”を、若布と昆布と定置網で所得豊かな“まちづくり”を、村民ひとりひとりを大切に思いながら“夢のあるまちづくり”を期待します。【60歳代、女性、無職】
- ①全国一律の「ひな型」に基づいたアンケート（選択式）ではなかなか創意のある独創的な意見は出てこないでしょう。必ずしも“独創的”である必要性はいりませんが、その地域の特性を活かした、住民の発意にもとづく（これが自発性・積極性を引き出す第一要件です）、具体的な提案は出て来ないでしょう。 ②村づくり・町づくりの基本（そもそもの目的）は、今現に住んでいる住民が、元気に、生き活きと、楽しく、自力で生きて（生きて）いけるということが、第一の根本的な目的です。そのために何が必要か、今後10年、20年先を見据えて、そのための条件を一つひとつ具体的に考えて、対策をたてることが不可欠です。（人口減少対策）（「人口減少を克服し云々」ということを挙げていますが、実際に子どもを産める世代が減少し、日本全体が歴史的な人口減の時代を迎えているのですから人口減を「克服」するには他の市町村との人口の争奪戦をやるか、これから都会に溢れる退職老人を迎える以外には、積極的な減少の「克服」策はありません。 ③そんなことより、今現にいる住民が元気に生き活きと自力で生活していくには、どうしたらよいかに焦点を当てるべきです。イ、「元気に、自力で」という点では、長野県高森町のピンピンコロリ運動は参考になるでしょう。 ロ、「社会的に、有意義に生活する」という点では、徳島県上勝町の葉っぱビジネスはヒントを与えてくれます。（二番煎じをやっても商売になりませんから）独自に考えなくてはなりません、教訓は、(a) 今迄見捨てられたものが資源として活用されたこと。 (b) それによって村内の高齢者を含めて労働力を、社会的有用労働として活用されるようになったこと。 (c) 従って、多少とも、自己の労働力に頼って生活していく道が開けたこと。 (d) 社会的有用性を自覚できるようになったこと。 (e) 最後、こういうビジネスは農林・水産・商業・観光などの従来 of 枠にとらわれた発想からは生まれてこないこと。【70歳代、男性、農林業】
- 普代村に、魅力が余りないと感じている。世の中は、お金の回りが良くなったと言われているが子育て世代には、とても厳しい。もう1人子どもを産めるかと言われれば無理!! 魅力をたくさん作り、発信していければ普代村出身の人も胸をはって自慢出来るので帰ってくるかも…。人間関係にも問題があり、若物が活躍する場が余りにも少なすぎる。それに対して、すぐ、否定せず、みんなでいろんな意見を出し合うと良いのでは…【40歳代、女性、製造業・建設業】
- （3つまでに○）に×をした理由は、今更選んでいる場合ではないと言う意味です。出来る事は全てやらなければ普代村は無くなります。役場も会社化しなければいけないと思います。村長は社長。顧客は村民。商品は顧客（村民）のニーズに応えたサポート。普代村と言う会社の弱点は役職の年功序列化と若い職員（社員）の意識不足。

普代村と言う会社の強みは今更ながら未来を想う若者が少数ではあるが現れた事。考えが明確でやる気のある若者を支援して下さい。手遅れかもしれませんが一緒に頑張りましょう。私は最後まで諦めません。現状の田舎は幕末の長州藩の様なものです。【30歳代、男性、水産業】

<アンケートについて> 6件

- アンケートが無駄にならないような取り組みとなって欲しい。【30歳代、女性、職業（その他）】
- 何の意味があるアンケートなのか、わからない。答える気持ちにならない。取り組むべき事等、今頃になってですか？ 無意味に等しいと思う。【40歳代、女性、職業（その他）】
- アンケートを取るだけじゃなく、やれる事はやってほしいですし、毎月の人口減少もかなしい。早く対策をと願っています。安心して動ける所があればと思いますが？【60歳代、女性、製造業・建設業】
- この調査も現状維持的な考えからの調査票と思います。50年先、「おらの村はこんな村だ、ここに住みたい」が欲しい。むかし、大学に入らなくても漁師をやれば大学卒よりいい生活が出来ると住んだ人が多かった（出稼ぎからもどった）。その前の人達は農業も海もだめだった。だから出稼ぎで村民が減少した。今、生活にゆとりがないからが全てではないでしょうか。それと人々の心が、神を敬うような素直な、正直な人々が少なくなった。【70歳代、男性、無職】
- すべて素晴らしいアンケートの内容。実行で、力強い実現に期待。微力なりとも当然の事、協力を惜しまず。【年齢無回答、男性、無職】
- 問の意図とは違うことを書きすぎて、破棄しようと、も、考えましたが一、村民の意見になれば幸いと考え、投函したしだいです。役場の方に余計な文面から、“これは、良い意見なのでは？”となにかを拾っていただけたら普代の未来につながると信じております。【年齢無回答、男性、職業（その他）】

<その他> 3件

- 村外の公園によく出掛けます。【30歳代、男性、商業・サービス業（公務員含む）】
- 普代村中、全村ではとても難しいと思う。そもそも、村の未来を考えるなどといい、（どんな村税）も村の利益につながるものを本気で考えていないのではないのでしょうか。あちらもよし、こちらもよしなんて、うまいことばかりでは、口ではなんとでも言えます。だいたい村議員さんたち、区の地区長さんなど、まずは上からやっていること

など、もっともっと、そこからではないですか。私には何か良いことなど、なにも見えない、聞けないです。本気がみえていませんが。【50歳代、女性、専業主婦】

- いじめとかなない、間違った認識に左右されない、何歳でも普通に過去にとらわれなく結婚できるように、みんながんばろう。【50歳代、男性、職業（その他）】

アンケート調査票

普代村 まちづくりアンケート

ご協力のお願い

日頃から村政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当村では、「笑顔が満ちあふれた、北緯 40 度の地球村ふだい」を到達目標（将来像）とする総合発展計画（平成 23 年度～平成 32 年度）の下、豊かで住みよいむらづくりを進めています。総合発展計画については、平成 27 年度で前期基本計画が終了することから、この度、平成 28 年度からはじまる後期の 5 年間の基本計画の策定を進めています。

また、今後の人口減少問題に対応するため、村の人口の現状を分析し、人口に関する住民の方々との認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する「普代村人口ビジョン」と、地域の実情に応じた今後 5 か年の人口減少課題を克服する具体的な施策をまとめた「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

本アンケート調査は、後期基本計画、人口ビジョン及び総合戦略の策定に当たり、皆様のご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

お答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理し、村政運営以外の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入いただきますようお願いいたします。

平成 27 年 7 月

普代村 地域創生室

ご記入にあたって

- 1 ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- 2 ご自分の答えが選択肢の中に入らない場合は、「その他（ ）」を選び、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
- 3 ご家族の中で 18 歳以上の方であれば、どなたが回答されても構いません。ご自身の考えをそのままご記入ください。

この調査票をご記入いただきましたら、無記名のまま、添付した封筒に入れて封をした上で、8月5日（水）までに行政連絡員（各地区の班長を通じて）に提出してください。また、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、回答期限までにご投函いただいても結構です。

※この調査票についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

普代村役場 総務課 地域創生室（担当：中村）

〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋13番地2

電話：0194-35-2111 FAX：0194-35-3017

あなたご自身のことについて

◎ 該当するものを選び番号に○を書いてください

問1 あなたの性別は

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢は

- | | |
|-----------|---------|
| 1 10・20歳代 | 4 50歳代 |
| 2 30歳代 | 5 60歳代 |
| 3 40歳代 | 6 70歳以上 |

問3 あなたの職業は

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 農林業 | 5 専業主婦（主夫） |
| 2 水産業 | 6 学生 |
| 3 製造業・建設業 | 7 無職 |
| 4 商業・サービス業（公務員含む） | 8 その他 |

問4 あなたのお住まいの地区は

- | | |
|--------|-------|
| 1 黒崎 | 8 鳥居 |
| 2 太田名部 | 9 白井 |
| 3 旭日区 | 10 堀内 |
| 4 中央区 | 11 茂市 |
| 5 上区 | 12 芦渡 |
| 6 緑区 | 13 萩牛 |
| 7 力持 | |

問5 あなたは普代村にお住まいになってから何年になりますか

- | | |
|----------|----------|
| 1 5年未満 | 4 20～29年 |
| 2 5～9年 | 5 30年以上 |
| 3 10～19年 | |

問6 あなたの世帯には中学生以下の子どもがいますか（2つまでに○）

- | |
|------------------|
| 1 小中学生の子どもがいる |
| 2 小学生未満の子どもがいる |
| 3 小中学生までの子どもはいない |

各分野の満足度について

問8 まちづくりの現状についてどのように感じていますか。項目ごとに1～4の番号をそれぞれ選び○をつけてください。(○は1つずつ)

		現状に対する満足度			
		満足	やや満足	やや不満	不満
例→	(1)農林水産業振興 ○をつける→	1	②	3	4
産業の振興	(1)農林業振興	1	2	3	4
	(2)水産業振興	1	2	3	4
	(3)工業振興(建設業を含む)	1	2	3	4
	(4)商業振興	1	2	3	4
	(5)観光振興	1	2	3	4
保健・医療・福祉	(6)保健対策(健診・健康講座など)	1	2	3	4
	(7)医療対策	1	2	3	4
	(8)高齢化対策	1	2	3	4
	(9)障がい者支援	1	2	3	4
	(10)保育・子育て支援	1	2	3	4
教育・文化	(11)幼児教育	1	2	3	4
	(12)小・中学校の教育	1	2	3	4
	(13)生涯学習	1	2	3	4
	(14)スポーツ振興	1	2	3	4
	(15)歴史・文化財の保全・活用	1	2	3	4
生活環境・都市基盤	(16)道路整備	1	2	3	4
	(17)除雪・排雪	1	2	3	4
	(18)公共交通(バス・鉄道)	1	2	3	4
	(19)公園・緑地整備	1	2	3	4
	(20)ごみ収集・処理	1	2	3	4
	(21)下水処理	1	2	3	4
	(22)消防・防災	1	2	3	4
	(23)治安・防犯	1	2	3	4
まちづくり・行財政	(24)交通安全	1	2	3	4
	(25)男女共同参画	1	2	3	4
	(26)地域の情報化	1	2	3	4
	(27)地域振興(コミュニティづくり)	1	2	3	4
	(28)近隣市町村との交流・連携	1	2	3	4
	(29)省エネ・新エネ対策	1	2	3	4
	(30)行財政運営	1	2	3	4

問9 はまゆり子ども園と放課後子ども教室の利用満足度についてお聞きします。(1つに○)

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用した ことがない
(1)はまゆり子ども園	1	2	3	4	5
(2)放課後子ども教室	1	2	3	4	5

問10 「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識を解消し、男女それぞれが持つ能力を平等に発揮できる社会をめざす「男女協働参画社会」の実現に向けた取り組みについてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

1 よく知っている	4 知らない
2 どちらかといえば知っている	5 わからない
3 どちらかといえば知らない	

将来展望について

問11 あなたは、将来の普代村がどのような村になることを望みますか。

(3つまでに○)

- 1 農業・漁業の振興が図られ、住宅地とも調和したまち
- 2 豊富な観光資源が活用され、村外からも多数の来客がある観光のまち
- 3 道路・交通や下水道・公園など生活環境や住環境を重視した便利で住みよいまち
- 4 人の往来や物流が盛んな、商業・サービス業を中心としたまち
- 5 企業導入が図られ、人々が生き生きと働く、所得水準の高い産業のまち
- 6 保健医療施設や福祉施設が整備された健康的で人間性豊かなまち
- 7 教育環境が充実し、自主的な学習活動や文化活動も盛んな教育文化のまち
- 8 ゴミや公害がなく、豊かな自然に包まれた環境保全のまち
- 9 その他 ()

問12 現状に対する評価は別として、今後、村が震災からの復興とさらなる発展のため特に力を入れていくべきだと思う分野はどの分野ですか。(5つまでに○)

- 1 農業・林業の振興
- 2 漁業の振興
- 3 商工業の振興
- 4 観光の振興
- 5 就労の場の確保
- 6 社会福祉の向上
- 7 保健・医療体制の強化
- 8 学校教育の充実
- 9 社会教育・文化活動の推進
- 10 スポーツの振興
- 11 幹線道路・生活道路網の整備
- 12 バス・鉄道など公共交通機関の充実
- 13 住宅や公園などの住環境整備
- 14 下水道・ゴミなどの生活環境対策
- 15 自然環境の保全対策
- 16 防災・防犯対策の強化
- 17 地域情報化の推進
- 18 住民交流・地域間交流活動の推進
- 19 まちづくりへの住民参画の推進
- 20 行政サービスの向上
- 21 その他 ()

人口減少に対する意識について

問13 普代村の人口減少については、現在2,870人の村の人口ですが、2040年には1,762人に減少すると国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。あなたはこの推計結果を知っていましたか。(1つに○)

- 1 知っている 2 なんとなく聞いたことがある 3 知らなかった

問14 普代村の人口が減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 現在より増加するよう努力すべき
2 現在程度の人口維持を目指すべき
3 なるべく減少に歯止めをかけるべき
4 人口減少はやむを得ない

問15 普代村の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、影響が大きいと考えること、不安に感じることを3つ選んでください。

- 1 地域経済への影響
2 地域医療、福祉・介護への影響
3 教育・地域文化への影響
4 地域公共交通への影響
5 地域コミュニティへの影響
6 行財政への影響

問16 人口減少を克服し、活力ある地域を目指して、普代村が今後とりくむべきことについて、最も重視すべきことは何だと思いますか。次の中から3つ選んでください。

- 1 産業を振興し、雇用を拡大させ、経済を活性化させる取り組み
2 転出等による社会減を減少させるための、移住・定住促進の取り組み
3 子育て支援やワークライフバランス等の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組み
4 農山漁村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会の中でも安心して暮らせる地域を目指す取り組み
5 介護や福祉・医療などの施策の充実で安心して暮らせる地域を目指す取り組み
6 地域を担う子どもの教育環境の整備とふるさとを慕う気持ちの醸成を目指す取り組み

人口減少対策の具体的な取り組みについて

問17 地域経済の活性化を行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。(3つまでに○)

- 1 企業誘致
- 2 起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出
- 3 生産性向上や商圈拡大の支援などによる商工業の振興
- 4 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ解消
- 5 6次産業化(※1)・ブランド化などによる農林水産業の振興
- 6 女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進
- 7 自然など本村の素材を生かした観光産業の振興
- 8 学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成
- 9 産業振興につながる道路等の整備及びインターネット環境等の社会基盤の整備
- 10 その他 ()

※1 6次産業：農林水産業(第1次産業)、食品加工(第2次産業)、流通販売・情報サービス、(第3次産業)を一体化した新たな食農ビジネスの取り組み。

問18 転出等による社会減への対策を行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。(3つまでに○)

- 1 移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実
- 2 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ解消
- 3 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
- 4 若者による地域の魅力づくりの支援
- 5 道路等や下水道など生活環境の整備や公共交通機関の充実
- 6 ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり
- 7 ふるさとへの誇りと愛着の醸成等により出身者のUターンを目指す取り組み
- 8 その他 ()

問19 結婚・出産・子育ての希望をかなえ少子化に歯止めをかけるため、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。(3つまでに○)

- 1 結婚につながる出会いの機会の創出
- 2 若い世代の経済的安定
- 3 仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス等）による働き方の見直し
- 4 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備
- 5 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
- 6 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減
- 7 多子世帯に対する支援の充実
- 8 幼児教育の充実や少人数学級の推進などによる教育環境の整備
- 9 病児・病後児保育、一時・休日保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実
- 10 生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成
- 11 その他（)

問20 人口減少社会の中でも安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。(3つまでに○)

- 1 自治会や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出
- 2 高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増
- 3 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
- 4 女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 5 廃校舎、公民館などの施設を利用した小さな拠点（※2）づくり
- 6 空き家の撤去・利活用、住宅の耐震化など安心してくらする居住環境の整備
- 7 村営バスの維持など公共交通網の整備
- 8 その他（)

※2 小さな拠点：小学校区など複数の集落が集まる地域において、日常生活に不可欠な施設や地域活動を行う場を集約し（小さな拠点）、各集落をコミュニティバスなどで結ぶことで持続可能な集落地域づくりを目指す取り組み。

問21 高齢者への施策の充実等による安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。(3つまでに○)

- 1 介護予防や認知症予防など、健康寿命（※3）の向上を目指す取り組み
- 2 高齢者の社会活動への参加促進
- 3 買い物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実
- 4 介護を必要とする高齢者への施策の充実
- 5 介護施設等の増設
- 6 その他（)

※3 健康寿命：日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。

